京城日報
十九日夕刊（朝刊夕刊と併せて八頁）

英佛軍の完全なる協合
フランダース戰にて發揮せし特長

佛軍司令部附ロイテル通信員の報ずる所に據ればフランダースに於ける前週戰鬪中發揮されし最も重要なる特長は英佛兩軍參謀部の完全なる協合なり佛軍及び英軍は双方より五月八日の朝攻擊を行はんとして作戰する處あり佛軍師團は英軍砲兵の協力の下にラクリットの東方なるボンベールの右邊を奪取せり共際英軍師團長は四十四高地に對して奇襲進展しつゝある旨を通告し來れり獨軍は英佛戰線中の弱點を探らんとして三倍の兵力を以て攻擊し來りたり此攻擊は全然失敗したるも我軍は戰線をウイパービークとヨブセウ河畔迄後退せしむるの已む無きに至れり敵の第二目標はヂツケブツシ町にして是れに對する攻擊は終日高地上にて繼續されたり（巴里電報）

墺國既に獨の屬邦

獨逸新聞は獨逸が墺國を高壓せるに對し贊成の意を表し墺國は最早獨逸の一屬邦に異らずと述べて之れを賀せり（倫敦電報）

維也納同盟不滿

維也納の輿論は獨墺同盟に不滿を表し殊にチエツク族及スラブ代議士は既に同盟に對し激烈に反對の意を表せり（アムステルダム電報）

墺國皇帝失望の躰

墺國皇帝カール十九世は獨逸に於て獨逸皇帝と會見し甚だ失望の體にて維也納に歸著せり（倫敦電報）

同盟罷業益々擴大
ホルワット長官の威力如何

十七箇團體の代表者四十餘名決議の結果十六日午前零時より同日正午迄鐵道電信電話は元より各會社商店に至る迄悉く同盟罷業に參加したるが之れに加はらざるは東淸鐵道、勵業、察電、燈會社のみなりホルワット長官の制御力地に墜ちたるの觀なり（哈爾賓電報）

在莫各國領事抗議

在莫斯科各國領事は英、伊、佛、日、瑞典等の通信に暗號の使用を禁せられたるに反對して勞農政府へ抗議を申込めり曰く『斯くの如きは國際法違反なるを以て速に取消しありたし』（莫斯科電報）

張督軍混成旅計畫

張督軍は更に第七、第八兩混成旅を編成すべく計畫中なり（奉天特電）

製糖滿洲發展

帝國製糖會社は滿洲に於ける甜菜製糖の目的にて四平街附屬地外に工場敷地を選定せり（奉天特電）

上島代議士

奈良縣選出代議士報知新聞主筆上島長久氏（憲政）は愛知縣選舉應援の爲め豐橋に出張中十八日午後一時宿痾の喘息にて逝去せり（豐橋電報）

今泉檢查官通過

今泉檢查官は十九日朝釜山に上陸十時半發の列車にて京城に向へり（釜山特電）

石炭需給（下）
朝鮮の產炭狀況

前述既約期限の終了と共に炭價の引上が電氣會社營業上の變革を起し電燈瓦斯電車賃に轉嫁さるゝに至るべきが如き例を引けば他の「事業に於ても等しく需要者に轉嫁さるゝの外はないのである

▼京城水道　の如きに見ても五千三百噸計りの石炭を消費しつゝあるから自然給水料の値上を見るに至るべく加へて益々斷水を頻繁ならしむる樣な事を豫想せざるべからざる事となる恐んな事は甚だ不便とすべきで內地の如く民度が高まつて居れば比較的問題とならぬけれども朝鮮の現狀は動もすれば馱して立ち勝ちかぬる事になるから始末が惡いのである右樣の有樣で石炭が我々の生活を脅かすことは可なり猛烈であるが現在の所安州炭田が約三萬噸成興炭田が四千二百噸鏡城の二炭田を合して三萬噸足らずを產するだけで其他は未だ言ふに足らぬものである

▼平壤炭田　の十六萬噸は大部分海軍の專用で市場に賣り出す煉炭用は二萬噸に過ぎず製造能力も一日四十噸を出でぬ現態であるから昨冬も二つの煉炭は官廳に使用されて市中には姿を見なかつた程である之れでは工業を興さうにも起し樣がない東洋拓殖會社が目下モンド瓦斯に熱誠なる研究を注がれて居るのは感謝に堪へぬ事柄であるが朝鮮にも良質ならずとも小炭田は各地に在り既に採掘許可のもの八十礦區に達して居るから早く之を掘ることが必要なると同時に朝鮮の住民は薪炭の

▼利用能率　を增進する方法に就いて十二分の智慧を絞ることが肝要である就中日本家屋の借家の粗造なる爲め今日家庭に用ひらるゝ薪炭の實際の價値は五割以下のもので殘りの五割は煙となつて飛び去つて居ると云つてよい若し之を適切に使ひ得る方法が案出されたならば滿鐵に向つて面倒な交涉を重ねて僅かばかりの利得を獲る樣な事は阿房らしくなつて來るかも知れぬ如何しても天然資源の乏しい土地では之を補ふに智能より得る富源の開發を圖るが捷徑である計畫制以外の

▼上水や電氣　は幾ら八釜しく言つても眼前の公德心では濫用を防ぎ切れるものではないが薪炭は節約し得る丈け各個人の利益となるから幸に利用能率を高むる考案が發見された際は一齊に効能が現はれて來るに相違ない將來の工業は必ず赤道を中心とする地方に集中される石炭の命脈は最早限があるから燃料に太陽熱を利用すべき時代が近いて居ると唱導する學者もあるがさう悲觀ばかりしては居られぬから戶障子の間隙から侵入する風を防ぐ丈の目張りをするのみでも四五千噸の石炭節約は出來やうと思ふ

▼朝鮮以北　の北滿洲西伯利の住民が割合に寒を苦にせぬのは家屋の構造に依り寒氣を恐れぬ迄も寒を輕んじない用意が拂はれてあるからである平素の設備と注意を怠り乍ら他人が思ふ樣に石炭を呉れぬとて之を憤り色々の機關に向つて責任を嫁し或は誹謗するの理不盡なる妄評暴論と謂はねばならぬ昨冬某氏が朝鮮の冬を如何にして安樂に暮らすべきやといふ質問を一般に放たれたが斯くの如きは實に遺憾すべき名聞である夏季に於て冬季の用意があれば多少にても平生を愉快にすることが出來やうと信ずるのである

物價高と新事業難
新事業の振はざる眞因＝創業費約三倍＝朝鮮製紙の實例

昨年に於ける朝鮮の生產事業界は頗る盛況を呈し注目すべき事業の計畫も著手少ならざりしが本年に入つては其の目論見の發表多からず沈衰の觀なきに非ずその原因は先づ內地

▲財界の變調　と事業家の手控へを擧げざる可らざるも主要の障碍は物價騰貴殊に諸機械類建築材料の暴騰せるあり各種企業計畫の投資を莫大ならしむるためならんと稱せらる尤も諸機械建築材料の暴騰せし如く其の產品の市價も異常の高値を現出し居るに付き差引大なる出入りはなきものゝ如きも然も時局の前途俄に豫斷し易からず乃ち莫大の投資を致して漸く操業を開始する頃に至り戰亂の終熄を見生產品市價の激落を來す如き事あらんか事業

▲會社の基礎　を動搖せしむるなきを保せず之れ朝鮮の如き新開地の事業界に注目すべき目論見容易に出現し難き事情なる如し現に東洋拓殖會社の如き朝內一二三目論見しき事業手の計畫を有するも姑らく大勢觀望の態にあり又新義州の朝鮮製紙會社常務原鐵太郎氏の新事業創設難に對する談を聞くに朝鮮製紙の第一期計畫としては今までに出來するパルプ一萬噸生產の設備ならば平時百二十萬圓を投せんか十分なりと思はるゝに目下工場創設に費やせし資金に將來投下を避くべからざる資金を合すれば約三百五十萬圓にして乃ち

▲三倍の費用　を要する勘定なり而して朝鮮の製紙事業は頗る有利なるべしとの期待は漸次裏切られつゝあり乃ち鮮人勞働賃金の如き會社の豫算にては一日四十五錢を計上し總督府當局も亦十分なるべしとの意見なりしが豈知らん目下會社は一日一人五十五錢を支拂はざれば鮮人勞働者を集め得ざる也又製紙パルプ原料の木材搬出の如き鴨綠江上流百五十里の遠きより筏流し來たる事は豫想以上の

▲經費を必要　とするものゝ如く又パルプ製造上に缺くべからざる硫黃移入の如き關稅を仕拂ひ高率なる運賃を支出しては甚だ會社は失費多き也唯然し乍ら一度計畫が樹て著手せし以上之れを遂行するは勿論なるが如斯多額の資本を固定せしめ如何にして償却すべきやは大問題なり之れ予等が夜晝兼行會社工場の建設に努め一日も早く完成し一日も早くパルプの製品を市場に賣出し正に出過ぎの觀ある

▲固定資本　の償却を幾何にても多くなさんと焦慮しつゝある所以なり之を以て如何に物價の暴騰が新事業界に打擊を與へつゝあるかを知るに足らん

法院出張所

左記地方法院出張所を新設し登記及び供託事務を取扱はしむる旨二十日府令を以て發布即日より施行さる可し

▲咸興地方法院管內　吉州、富寧、茂山、慶源、咸北、高原、文川、利原、端川、新興、豐山、甲山、成南▲平壤地方法院管內　[illegible]州　淸原　平北

不服申告累計

臨時土地調查局長の查定せし土地所有權並に疆界に對し異議不服ある者は高等土地調查委員會に裁決を申告する期間は府郡廳に於て制限に基づき三月二十八日を以て締切りしが昨今を以て略終了の形なるが結局其後土地調查局に集り來れる物も當初よりの不服申告累計は當局に於て豫想せし二萬件を超ゆる事約百件に留まれるが右の中高等土地調查委員會にて裁定せしもの申告の條件不備にてその儘申告人に還附せしもの自ら進んで還附を求め來れる者等を差引けば目下殘存し居れるは約七千件內外なるもコハ全部として離件に付その裁決終了は土地調查事業完了後兩三年間を俟たざる可らざるべしとの事なり

中支と鮮銀
某重役の談

朝鮮銀行にては對支貿易の趨勢に鑑み濟南、天津、北京の各地に支店を開設すべく大田理事の出張を見たる旨大連特置員より報じ來れる事は既報せしが同行某重役は曰く鮮銀にて將來上記の各地に支店を設くるの可否に付諸種の關係を調査しつゝある事は實際なるも何れも早急に差し迫りたる問題ならず從つてその開設も近く實現する事は困難ならん唯某地支店は諸種の關係上或は遠からず相當の手續を行ふ事となるやもはかられざるが確認の時期に達せず尙ほ大田氏の同方面出張は視察にして序でに支店開設に關する取調べを行ふにもあるべきが少なくも開設の準備的若くば先行的と目する程のものに非ず又中村庶務局長の支那出張の如きは全く他の要件にて問題を異にす

殖銀の組織
主要地に總支店

朝鮮殖產銀行は近く關係法令の發布と共に創立委員長以下委員の任命を見六農工銀行の解散殖銀の成立に關する新株募集其の他の事務を取扱ふ筈にて開業は九月一日よりならんと云ふが開業後の組織は略ぼ農工銀行を以て本店とし地方の五十餘の支店は本店直接の關係とせず現在農工銀本店の所在地に若干の變更は加ふるものゝ如きも六箇所に於て總支店を置き該區域內の支店出張所を統轄せしむる事となるべしとの說あり

兵事々務打合

駐劄軍司令部及び第十九師團司令部にては本年度より施行の陸軍簡閱點呼勤務演習召集等に關し各道廳と兵事々務打合せの爲左記の程度に依り各主任副官を派し「詳細の說

新航路否認

釜山並に群山方面に最近朝鮮郵船會社が釜山仁川青島大連航路を開航すべしとの說ある如きが朝鮮郵船會社にては現に仁川青島大連芝罘間の北支那航路を釜山に延長する希望なきは勿論新に釜仁靑航路を開く如きは第一會社に所有船舶の餘裕なく又之を今日の暴騰せる傭船料を支拂ひて就航せしめんか到底採算の餘地なきは勿論に付何等さる計畫はなしとの事なり

鞍山製鐵所職員

滿鐵鞍山製鐵所の職員は十六日任命ありしが其の主なるもの左の如し

所長　八田郁太郎
庶務課長　横田多喜助
製造課長兼事務取扱　八田郁太郎
經理課長　矢野端
工務課長　直村盛之助

持地長官歸任

北鮮巡視中の持地遞信局長官は二十一日元山上陸郵便局長會議に臨み部下訓示をなし二十五日夕歸京の豫定なりと

藤山雷太氏入京

日本製糖會社長藤山雷太氏は十九日夜入京巴城館へ投宿の筈なり

新司法十年（二）
辯護士　中村時章氏談

當時京城地方裁判所に判事として職を奉ずるものは先づ傭聘官吏中でも少壯とでも云ふべき人々で韓國は當時から誅求が烈しい、權勢家が壓迫をした韓國の制弊は一に是に基く日本人、傭聘さるゝ唯一の理由は之を改善するを目的とするに至る以上苟も地位階級の下等のものより權勢家高位高官のものを被告として其權利の回復を訴へ出る訴訟に關しては何うしても被告即ち權勢家の行爲を疑ふ傾向は免れ得ぬので神ならぬ身には常に如此感想に捕はれ易い殊に永く野に在りし自分としては一層其感が深い又時々右樣の訴訟が審理さるゝ際上官などより其案件の進行模樣など聞糺さるゝ樣のことがあれば夫れ來たと直ぐに何か被告たる權勢家より直接間接に法部又宮內府あたりより干涉でも來たのではないかとの觀念が生ずる

◯如此場合に原被何れとも曲直の分明ならざる案件ならば勢ひ權勢家の不利な判斷が生ずる憂なしとせぬのである、てんで頭から我々は韓國の哀れな土民を救濟するのが任務である我々は日本人として大に誅求に苦む人々を苦境より脫せしめんとして遙々此殖民地に來て居るとの念が有るからである

◯然るに自分が四十二年野に下りて辯護士業を執るに及んでは右の感想も存外誤られたるにあらざるやの疑が澤山あるのである、當時の韓國人はあれで中々訴訟界の事には慣れたもので前陳の日本人の感想念慮などは百も承知の上で訴訟界の『モグリ』などは此の感想即ち哀なるものを救ひ出す俠的の執著心を利用して僅かの苦情を種にして昔の權勢家より甘き汁を吸はんと企つる惡漢も多々ありて浮つかりすると判官は其術策が彼等輩の爲め惡用せらるゝ事がないとも限らんのである是等皆其

九州見物（十五）
磐溪生

黨爭の弊

政黨政治は近代政治の理想とせられ居る以上政黨の發達は歡迎せざる可らず、然れ共熊本の如く政友憲政の兩黨相伯仲せる勢力を以て對立し、黨勢の擴張を計らんがためには如何なる手段をも辭せざるに至つては、是程迷惑なる者はなし、一例を擧ぐれば

◯公衆衛生上　一日も忽にする事を得ざる上水の如き、交通機關の如き、其他都市經營上の施設悉く甲黨の計畫に係るものは乙黨が反對し、反派の建議案は甲派が揉み潰す、政黨としては、止むを得ざる仕儀ならんも、爲政者側から觀れば本妻と妾の喧嘩、市民に取つては親父とお袋の摑み合ひ何れにしても家政は圓滿に立行かず、火鉢や鐵瓶は火花を散らして轉げ出す始末なれば

◯其の困惑の　狀や察す可きなり、然し服裝が鼻裝を罵るはそれが不精なるがための其顏の所有者の色男の値打を增す可し、眼たり鼻たる政黨み、不潔物を拭ひ去らば健全なる發達こそ望ましけれ

熱誠なる歡迎

視察團一行が熊本に乘込むや、同市有力者は熱誠を以て歡迎し、我社同人をして

◯感謝の辭　無からしめた程なりき、特に公會堂に於ける歡迎會には知事市長を始め官民二百數十名列席し、到れり盡せりの歡待を忝うしたるは、我々の豫期せざりし處にて、然も熊本市としても豫期せざりし大成功なりしとか聞及ぶ前述の如く、熊本は黨爭の激烈なる土地なり、甲が右すれば乙は左、乙が前めば甲は後するが如きは稀有の事なりしも

◯觀察團歡迎　の事發起さるゝや、從來の行懸りを棄て、贊成し、忽ちにして二百數十名の申込みありたりと、之同市に於ける政黨關係が著しく向上發達せるに歸因せるは疑なきも、斯くまで熱誠なる歡迎を受けし理由の幾分は、我社の聲望と無佛社長の個人的關係に因りしならん、而も其大部分の理由は、熊本は古來より歷史的に經濟的に朝鮮と

◯密接の關係　あり、而して朝鮮に於ける有力者が多數訪問したるに依らずんば非ず

全鮮米檢查員會同

檢查米鑑定統一講習及び包裝改良、容量檢查の方法研究の爲め來る六月十日より三日間釜山に於て全鮮米穀檢查員を召集して講習會を開く豫定なるが總督府よりは綾田技師出席すべし

群山

▲客月貿易　群山港四月中輸移出入貿易狀況は輸移出品にては米穀三萬零七百三十七石價額七十二萬九千百九十一圓綿絲千零九十五擔價額八萬七千五百八十四圓を主なる者とし輸移出總額八十二萬四千三百八十五圓にして輸移入品にては砂糖十萬一千七百六十九斤價額一萬二千八百十六圓生シーチング及び生金巾六萬三千六百十方碼價額一萬六千零四十一圓粟三千六百七十八石價額五萬二千八百三十八圓其他輸移入品總價額十五萬九千七百四十一圓なりしと▲印刷創立會　舊に創立許可指令に接したる群山印刷株式會社創立委員總會は十五日午後一時より群山商業會議所に於て開催し創立に關する諸般の事を凝議する處ありき▲群山驛滯貨　群山驛に於ける內地輸送貨物の滯貨は最近に於て二千五百數十噸に達し居れりと

大田

▲上林長官來田　上林忠南道長官は澁谷第一部長原學務書記と共に十九日大田に於て開催する忠南第一區小學校聯合運動會臨席の爲め十八日午後八時著列車にて來田十九日午後歸任す▲江景郷山街道　湖南線江景驛より全北礪山に通ずる三等道路約[illegible]まり不日實測に著手すべし▲大田川落成檢查　水害復舊及び護岸工事中なりし大田大東川の工事は殆んど竣工し山本道土木主任十八日に檢查を爲したり▲繰綿工場敷地　慶尙南道の某鮮人資本家は大田に於て繰綿工場を新設すべき計畫にて敷地選定中なりしが右敷地は借入るものか又は買收するかは不明なるも木尺里の國有地約二千坪に選定し略ぼ決定せしものゝ如し

□河島より

相別る
君が行道薇にオランカン　船遊
別れ行ふ水の行方や春霞　鳥
豆滿江
兩國の別れ路霞む豆滿江　船遊
川柳を別ちて水溫む　鳥
畑
打ち〳〵て山裸なる畑遠し　鳥
馬上過ぐ木の無き里や春霞　同

人事消息

▲野手耐氏（釜山稅關長）　十九日朝入京朝鮮ホテルへ
▲田島彥策氏（代議士）　入京中なりし處十九日朝退京
▲小堀甯資氏（帝室技藝員）　十八日平壤へ赴きたるが二三日中再び入京の筈
▲熊木利平氏（實業家）　十八日朝入京京城ホテルへ投宿
▲岩下龍太郎氏（福井縣技師）　十八日午[illegible]
・大島江原道事務官　十九日午前入京來城
▲西田正俊氏　大阪朝日東京支店長[illegible]　十九日午前入京龍尾へ
▲石渡信太郎氏（九州製鋼取締役）　十九日午[illegible]

酒前茶後

◆日本にては學者が餘り政治問題へ容喙せず超然として居る例[illegible]
◆獨逸の如きは大學教授連が正々堂々と政治問題に容喙し大に論議す[illegible]
◆昨年十月全獨教授千百名聯合して無併合無賠償の議を決せし際の[illegible]
◆吾等は帝國議會の多數を認す[illegible]
◆之に對し伯林大學教授五十五名宣言し大に氣を揚げ武斷派に左袒[illegible]と平和談判は羅國を基とす[illegible]
◆國家の重大問題に關し大學教授の率先議論を鬪はすは學者の權威[illegible]
◆物故せし紐育稙留土社長歸熱は日露戰爭の當時は猛烈な排日[illegible]
◆北理山は姿の露國女の口車に乘[illegible]露い紙幣を澤山背負い込みし[illegible]
◆烏拉南方の一小市には贋造紙幣流行し其文面に曰く本紙幣は[illegible]
◆本紙幣は新聞紙木屑と同樣使用[illegible]
◆之は小生及小生友人どもの決議[illegible]し得べしとは飛んでも無い事なり[illegible]て發行するに至ては愈々發狂[illegible]
◆潛航艇は公表に能く敵艦の潛望鏡[illegible]破壞すとて重大の如く吹聽[illegible]
◆潛航艇は人間にて云へば即ち眼[illegible]盲目にせしとて死命を奪ふに非ず[illegible]日本にても少し軍事思想を[illegible]ふは目下の急務と某海軍將校語[illegible]

◉雨の牡丹見物＝十九日仁政殿前に於て

瑞西土産(三)

汽車の運轉數が減る

瓦斯も午後五時以後は使用されぬ＝婦人子供の薪拾ひ

新歸朝者 總督府醫院小兒科長 河野醫官談

食料品を除いて次ぎに缺乏して居るものは被服類と燃料である物資が缺乏すれば相場が騰るのが原則で從つて戰前の二倍三倍に騰貴したものも尠くなく被服類の如き新調すれば忽ち二百法は飛ぶ相である唯だ食料品丈は日常生活上の必須品であるから政府に於て常に

▽相場の調節 を圖り決して一厘でも騰に値上げするやうなことはさせないだから外の物價が騰貴して居る割合に食料品は騰貴して居らぬ從つて國民の苦痛とするところも相場の問題ではなくて數量の問題である何しろ一定の制限量以上のものは假令百萬圓積んだところで自由にすることが出來ぬのだから情けない話である悲慘である石炭は從來佛蘭西と獨逸から供給を受けて居たが今では全然其輸入の途が絶えて了つたので

▽凡百手段を 講じて其節約に努めて居る結果として汽車は運轉回數を減らし瓦斯の如きも午後五時以後は絶對に使用することが出來なくなつた斯様な譯で一般の燃料として居た薪が非常な勢力を見せて來たが高價いも高價い目玉が飛び出るやうに高價いので夫すら容易に市民の手に入らず女子供は先を爭つて薪拾ひに出かける此頃の瑞西では薪拾ひが女子供の重要な仕事の一つになつて居る、とは尤も千萬開戰以來瑞西の

▽明媚な山水 に憧憬れて來る觀光客に依つて居た地方の旅館は俄かに門前雀羅を張ると云ふ寂れ方であるが首府のベルンでは又開戰と共に夥多しい外國人が入り込んで來た西瑞は佛、伊、獨など交戰國の境界を接して居る關係上敵味方の形勢が好く判るので凡百諜報の策源地のやうになり

▽獨探を首め として軍事上の秘密を抱いた様々な人々が卍巴と入り亂れて活躍して居る此外佛獨の俘虜が居る爲め態々其本國から訪ねて來る家族もあり彼此相俟つて旅館は無論普通の住宅も大概底從つて家賃も高く中産以下の者は到底其負擔に堪へ切れずドシ／＼城を明け渡し住むに家なくして他所の軒下などに固い夢を結ぶと云ふ悲慘な群も尠くない。

花間を彩る蛇の目傘

▽仁政殿！雨の牡丹會

花色一しほ艶に觀覽者は大歡び

西行閣で茶菓の饗應

十九日は李王殿下が御招待の多數官民に仁政殿の牡丹觀覽を許された第一日、生憎朝から空模様が惡く時には篠のやうな雨さへ降り出したが御招待を請けた人々は些とも躊躇せず定刻の十時になると家族同伴、

◆◇禮裝の襟 を正して數千名が敦化門から陸續參入する、玄關で名刺を差出して廊下を出ると滿目是れ悉く牡丹、花は徐々濃艶に笑ひ溢ぼれ丹碧の色美しい仁政殿の階に映ゐて宛ら李王家の御繁昌を壽ぐが如く目出度しとも又目出度し時々思ひ出したやうにザーと

◆◇降り濺ぐ 雨は花を散らすの憾みはあつても之が爲め花色却つて艶に觀覽者を喜ばせること一方ならず、態々蛇の目傘翳して花間を徘徊する佳人もある、御覽者の中に夫人令嬢御携帶の芳賀總督府醫院長あり『一句浮んだ是は何うだ……』と隣人に差出した

◆◇紙片には 『白丹紅を壓して驕りけり』とある之も時に取つての御愛嬌か、觀覽者には西行閣で茶菓の饗應があつたが午後からは天候恢復の兆が見ゐて一層の人出、雲行を見て居た李王職洋樂隊も來て興を添へた

◉光明師歸著

即日東上すべし

大谷光明師は十九日朝京都に歸著同夜東上の筈(大阪特電)

◉燒跡で言渡

福井裁判所にて 露紙幣僞造者を

露國紙幣僞造者尾崎謙三郎尾崎庄一徐田富造等は福井裁判所にて懲役四年の判決あり同裁判所は過日の大火にて燒失したれば燒跡の庭にて言渡されたり(大阪特電)

◉奉天潤雨

農作物の發芽期

久しく旱魃續きなりし奉天地方は十八日夕方迄に二十八粍八の雨臻し農家は大豆高粱等の發芽期とて喜び居れり(奉天特電)

◉一高全勝

對慶應四A對零

十八日一高對慶應の野球は四プラスアルファ對零にて一高の勝に歸し一高は十五年振りにて春季野球競技に全勝せり(東京特電)

◉囚人より賄賂

看守合狀執行さる

和歌山監獄看守龜井龜太郎、青木清吉は囚人より賄賂を取りし事囚人の自白に依り判明し合狀を執行されたり(大阪特電)

◉少年大賊

◇東京で荒仕事をなし各所の銀行を荒し廻る

山口縣熊毛郡田布施村當時住所不定林康平(一九)は去る大正五年二月より昨年十月初旬まで龍山の鐵道局に給仕として雇はれ居りしも不都合の廉にて

▼▲解雇 され同月上旬東京に逃き雜司ヶ谷山木秀夫方へ書生として住込みしも本年三月末解雇されたるが懷中無一文なるに大膽にも惡意を起し四月一日朝舊主家山木方へ忍入り金側懷中時計、純金指環二個、寫眞機及び川崎貯蓄銀行芝支店通帳、郵便局貯金通帳、河合銀行通帳、印鑑其他一點(價額一千餘圓)を

▼▲竊取 し附近所の中野滿太方へ忍入り金腕時計一個を竊み更に川崎銀行芝支店に赴き該貯金帳に捺印し二百圓を高田郵便局より引出し其足にて三越呉服店に到り旅裝を整へ吉原遊廓にて遊興をなし更に下關、釜山、京城等各地に於ても遊興をなし安東縣に赴き品の一部を質入し

▼▲千葉 へ流れ込み福岡縣遠賀郡枝光新町男生松田金吾と僞名し又もや惡事を働かんと市中徘徊中寺田刑事に捕へられたるが尚各地に於ても犯罪ある見込みにて嚴重に取調中なり(千葉)

◉警察署の窓

で犬喧嘩 頸輪に氏名をつけよ

近來狂犬發生の季節とて京城にては野犬撲殺を施行し居れるが之れに就いて自家の畜犬を撲殺又は捕獲されたとて本町警察署に咬鳴り込むもの毎日二三名宛あり應對の係官をして

▼▲手古摺 らせ居れるが『私方の犬には鑑札を附けてあるのに何故捕獲したのだ』と怒り方に係官は鑑札とはドンなのですかと『ソンな無法なことがあるか』と血相變へての反問すると先頃

▼▲京城府 から下附を受けたと出して示す然るに斯様な人々は畜犬取締規則を知り居らざるものにして京城府よりの鑑札と稱するものは單に畜犬稅に關係あるのみにして警察署に對して

▼▲畜犬届 を提出し置かざれば此の犬殺しに對しては何等飼犬たるの證にならざるものにして畜犬取締規則第二條には明かに『畜犬には飼主の氏名を頸輪に明記するか

▼▲氏名を 記したる札をつけよ』とある而して其飼主の名なき犬は野犬と見做して撲殺さるゝこともあるべしとあり、然るに斯く怒鳴り込みたる人は此

▼▲規則を を熟讀して今更らの如く青菜に鹽となりて引下るは滑稽でもあり氣の毒でもある而かも中には昨今の物價騰貴に伴ひ折角の飼犬を置き去りにして他に引越すもの多く爲めに野犬となりて徘徊するに至りたるもあり彌々極めて良からぬことながら

▼▲他家の 犬の鑑札を奪ひ取りて自家の畜犬に結びつけたるものもある次第にて是等は決して畜犬と見るべからざるも念の爲三日間は蹈留して撲殺を延期し居るもの也と

弓術會に於ける古式の射型

◉弓の會

＝倭城臺俱樂部にて＝

十九日午前十時から倭城臺俱樂部に於て催されたる弓道大會は京龍三十七名水原八名仁川組里等よりも射手來會し開會と共に和智、河合、内田、廣中等諸氏の射形ありたるが折柄猛雨降り頻りたるも盛會裡に散會したり

◉阿片密賣者

高陽郡龍江面孔德里崔俊華(三七)住所不定の李秉昇(三四)文哲源(三六)邊錫燦(五六)崔星源(三八)の五名は共謀し阿片烟價格數十圓の物を携へて密賣せんと目下市中を徘徊中なるを探知し五名共逮捕し取調べの上檢事局送り

◉人夫慘死

十七日午前六時十分頃龍山騎兵聯隊工事場にて土沙採掘中の鮮人々夫一名崩壞し來る土塊の下敷となりて慘死せり

◉木石書會

久保田天南氏主幹の下に同好者十餘名相會し毎週一回日を定め熱心に南畫研究の結果近來著しき進歩を來せしは衆人の知る處なるが本年は其の第四週年に相當するを以て十九日午前十時より本町二丁目梅の家(元千代本跡)大廣間に於て第二回大會を開催し會員の近作九十五點を陳列し一般の參觀に供し尚席上揮毫あり盛會なりし

毎週ポンチ＝郊外散歩

(一)西坊君 とお父さんとは晩春の景色を探らんと天氣の日曜日を幸ひに郊外散歩と出かけました

(二)西坊の お父さんは清々とした何んとも言へぬ景色に見とれてムニヤムニヤと獨言を言ひ乍らあかず眺めて居ります先づ一ぷくとキセルを取り出して煙草をつめたがかんじんのマツチを忘れて來たのでおい西坊やおまへマツチ持て來ないかと後ろを見るとこりや大變……

(三)何時の 間にか西坊は村の小供となぐり合ひの喧嘩をおつぱじめて居る、おい西坊や喧嘩なんぞするんぢやない、おい西坊やおまい良い子だからお止し、と言ひて居る間に二人は取組合になつたかと思つて居ると西坊と村の子の頭がゴツツーン

(四)ゴツンパツ と音がしたと思ふとお父さんめくはへて居た煙管に火が付いてプカーリプカーリ、業の煙りはゆるく／＼と輪を描いて空に昇つて行きました

灯ともす頃

▲露領に於ける物資缺乏の甚だしい事は何人も先刻御承知の事であらうが就中燐寸の缺乏には閉口して居るらしい▲其處で燐寸が密輸入する者が増加して目下(以下判讀困難)

大掃除

＝二十日＝

京城本町警察署管内左記町内は本日大掃除を施行すべし

新町、本町五丁目、並木町、東西四軒町、黄金町六七丁目、光熙町一二丁目

讀者文藝(一等には五十錢の書籍券を呈す)

▲飯め系

◯玩具の馬(一等) 京城大和町の一 殘春堂内 文助

佳作 京城 茂呂紫 / 龍山 省己 / 京城 田部ゆき / 同 芳南 / 同 晋伍

次回課題 (一)

◉財産爭から妹

……哲也とが財産上の爭ひより殺せしこと、知れ取調中なり(大阪特電)

……柳、同町鹿野方等合計十一箇所にて合鍵を使用し又は忍び込み或は……

……近の山中にて仔牛三頭を生擒れり

◉連絡船上陸客

十八日午……田木恆行、井上善治、香川つる、同まき、同靜子……

十八日午後入港壹岐丸上陸一二等客……

文藝課題及募集規定

□募集……▲用紙は端書に限る……名及び住所氏名を明記の事……

天氣 大 くもり

釜山 一時 晴……

紳士の頭髪を飾る 高等練香油 二葉ポマード
髪にチツクを要せず、頭髪は思ふまゝ貴婦人は申に及ばず到る處で高評
大阪久寶寺町 化粧品問屋 角倉支店

質 倉庫完全 有價證券貸入
京城櫻井町二丁目 杉本質店 電話三一〇三番

大阪堂島米穀取引所仲買人
冨永亀次郎商店
大阪堂島濱通一丁目
營業案内無代進呈
電話 長 一〇七三番 一五八八番 / 北 一九九六番 二五番 略號(ミト)(ト)
前金注文紹介不要

輕快 一日六俵搗 足踏精米麥機 天下一品
本機は運轉輕快婦人小供にても終日作業容易一日六俵搗三俵搗各種あり實物廣告の爲め限り特價提供詳細說明書申込次第進呈
大阪市北區上福島一丁目梅田橋 砂川製臼所精米機部

強胃消化錠 マーゲン
本舗 大阪 田畑保壽房
特約店 京城南大門通二 新井藥房

丈夫で安い實用靴 ボックス革製
編上靴 甲四圓四十錢 乙三圓四十錢
深ゴム靴 甲四圓七十錢 乙三圓七十錢
半靴 甲三圓九十錢 乙二圓九十錢
御注文の節は足袋の文數と種類を御申越あれ代金引替小包で送る
東京牛込 神樂町六 ツブク靴店 軍用專用

磐城石炭株式會社 株式募集

◉礦區の位置
本礦區は福島縣石城郡山田村に在り坪數四十一萬八千五百餘坪、街道の宿驛たる石城郡多數川村大字榊山より一里半にして本礦區に達す常磐炭礦中にも礦量の豐富を以て同業者間に羨望せらる

◉交通及運搬
本社の礦區は常磐線植田驛より三里にして途中三哩は既に輕便鐵道の通ずる所なり本礦區の坑口迄は輕便鐵道の延長を要するも近く完成するに於ては運搬能率は現在に比し數倍す

◉品位及礦量
本礦區の炭層は北東に傾斜し火力強く且つ硬質なるを以て優良品を得べし現在稼行せる他の炭坑に比し優るとも劣らず試錐を要せず露頭により判明せる炭量は確實に約百貳十萬噸なり

◉特色及利益
幾多新設同業會社が會社成立後漸く設備に着手するものの多きに反し本礦は設備既に成り一ヶ月以降の採炭に着手し得べく從つて當社の株式は拂込後直ちに配當を爲し得べく當初より優良なる利益を擧げ得べきは創立者の確信する所なり

募集要項
一資本金總額 金壹百萬圓
一壹株金額 金五拾圓
一募集株數 五千株(總株數二萬株の内一萬五千株は發起人及贊成人に於て引受濟)
一申込證據金 一株に付金貳圓五拾錢
一申込株數單位 拾株
一第壹回拂込金 一株に付金拾貳圓五拾錢
一申込期限 五月十四日より同二十三日まで
一募入方法 應募株數超過の場合は發起人に於て適宜之を決定す
(定款目論見書及申込用紙は左記取扱所並に創立事務所に備置候)

磐城石炭株式會社創立事務所

發起人及贊成人(○印發起人)
東京 ○稗田齋四郎 / 東京 ○室本正彥 / 東京 三田義文 / 東京 南枝守富 / 東京 ○伊藤挺三 / 横濱 ○立藤峰雄 / 横濱 ○小鹿助三郎 / 名古屋 ○佐分三之亟 / 名古屋 ○鈴藤三次郎 / 名古屋 ○松村岩次郎 / 名古屋 松山繁三郎
大阪 ○前田房之助 / 大阪 ○紫安新九郎 / 仙台 和田物八 / 松島 ○松井宮治 / 長野 折下盤之助 / 東京 宮本友吉 / 東京 ○松田良七 / 東京 千葉雄三郎 / 東京 生田胤助 / 東京 ○用中伊三郎 / 外二十二名

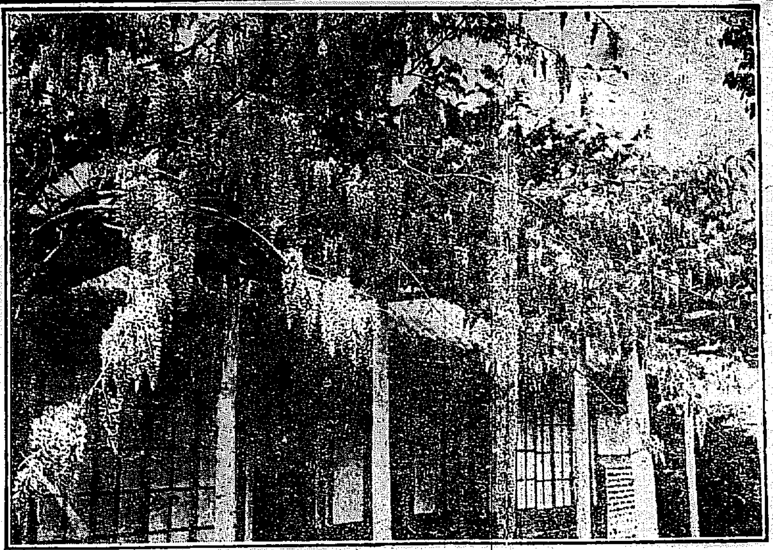
株式申込取扱所
東京市日本橋區吳服町 株式會社東海銀行
東京市日本橋區兜町 株式會社帝國商業銀行
東京市日本橋區小網町 株式會社豐國銀行
東京市淺草區並木町 株式會社豐國銀行淺草支店
東京市京橋區南新堀 株式會社八十四銀行
東京市京橋區八丁堀 株式會社八十四銀行東京支店
東京市日本橋區本石町 株式會社若尾銀行
東京市麴町區有樂町 株式會社丁酉貯蓄銀行
東京市京橋區 株式會社農工銀行
東京市日本橋區馬喰町 株式會社帝國銀行
東京市京橋區內 株式會社左右田銀行
横濱市 株式會社左右田銀行
横濱市南久太郎町 株式會社帝國商業銀行大阪支店
大阪市東區博勞町 株式會社明治銀行本店
名古屋市傳馬町 株式會社名古屋銀行
名古屋市 株式會社愛知銀行
仙台市大町 株式會社宮城商業銀行
長野市東町 株式會社信濃銀行
松本市 株式會社第十三銀行
東京市日本橋區 合資會社六十三銀行支店
名古屋株式信託團
名古屋市南伊勢町 佐分三次郎商店
名古屋市南伊勢町 安藤竹之八商店
名古屋市 荒川利一郎商店
名古屋市 安田善次郎商店
名古屋市 吉川幸三郎商店
名古屋市大津町 若山周一商店
名古屋市大津町 後藤商店

東京市京橋區新富町五丁目十七番地
磐城石炭株式會社創立事務所
(電話京橋二五八番)

大邱府下泉北面上院村李淵上[illegible]の妻きわ（二）は十八日朝七時何者にか咽喉を突き刺され死去せるを發見取調べの結果實姉みつ枝と其の夫[illegible]

[illegible]洞居住前科三犯の李濟模（二七）は三月十日以降に市內吉野町一丁目中井、蓬萊町一丁目所在三好の空家旭町三丁目八島、吉野町一丁目寺[illegible]逮捕さる。

●仔豺を生擒　慶北醴泉郡[illegible]川面沙谷里李又世外四名は先頃附[illegible]



●藤の花　開城高麗町玉井氏前庭の藤で樹齢二百年以上、花を著くること三千を下らず、觀客の訪ひ來るもの多し

奉天だより

◇去る十四日より營業を開始せる奉天の東省實業公司は有價證券、土地、商品の擔保貸付の他に倉庫、金融間紹業、動產不動產の賣買仲介、家屋の建築、株式及び社債の應募並に引受け、保證引受並に一般信託業等を營業するといふ

◇日支合辦の正隆銀行は滿洲各地に支店を有する安田系統の銀行であるが本日十五日より京奉線の錦州城內に支店を開設し同地日支人の金融に資する事となつた

◇去る三月中に於て一日の乘降客一萬人以上に達した奉天驛では到底目下の建物では間に合はぬと近く三等待合所を增設の豫定、工事は本年七月過ぎより著手するといふ

◇而して又た奉天の機關庫も現在のまゝでは狹隘を告ぐるを以て三四年の繼續事業として增設に決し今年は機關車十臺を容るゝに足る位の設備をなす筈兎に角あらゆる方面に於て奉天相當の設備を要する時代となりつゝあり

◇奉天の東撫順街道にあたる東陵は舊清朝の御陵のあるところ北陵と共にむかしから大切にしられた場所であるが先年來支那官吏及び商人の或者が中央政府の者と結託して同地の森林を伐り出し一儲けせんと畫りつゝあるとかで既に三抱へも四抱へもあるやうな巨木が盛んに濫伐せられてゐるとは惜むべきである

關釜間の運輸　西管釜山派出所調查

◆貨物出入　四月中釜山に於ける貨物輸送成績を前年同期に比較するに發送五千百五十二噸に對し五千八百五十八噸にて三百一噸の增加五分四厘の率を示し到着は二千五百卅八噸に對し二百十三噸減二千三百二十五噸八分三厘の率を示し而して收入金に於ては前年の一萬九千七百四十九圓卅五錢に比し三萬四千七百九圓廿五錢七割六分三厘增一萬四千九百五十九圓九十錢の激增を見るに至れり

、發送貨物　米は二千二百二噸一萬二千二百七十三圓にして前年の二千百九十九噸六千六百圓に比し三噸を減少し五千六百七十三圓の增加なるは前年度に於ては關門米多額にして運賃は一噸一圓十錢なる安價運賃なるも本年は一噸三圓四十錢に改正せられたると前年度に於ける陸上特約運賃が割高なる特定賃に變改なりし等如上運賃の增加を招來せし結果なりとす

大豆は一千四百六十七噸八千百八十七圓にして前年の二千百八十一噸五千八百九十九圓に比し七百十四噸二千二百八十四圓の增加[illegible]

●到着貨物　は既往旺盛の反動をうけて振不振の狀勢を示せり[illegible]

外米を輸入せば　一升二十錢內外にて

近時一般米價騰貴に連れ我が慶尚北道に於ても亦々外國米の輸入を見るに至れるが其の重なる產地は西貢地方にして何れも白米及び碎米の外滿洲粟の輸入も尠なからず又江原道地方より黍の移入せらるゝもの多く今本年一月より四月迄に於ける之等の廻著數量を示せば

一月中（碎米）四百三十四石七斗（粟）二十八石四斗（黍）七十一石▲二月中（碎米）五百五十七石七斗（粟）四百五十九石五斗（黍）九十七石▲三月中（白米）[illegible]（碎米）[illegible]▲四月中（白米）百九十六石、碎米百六十八石四斗

以上の輸移入を見たるが其の價格は時期に依りて一定せずと雖も白米の小賣相場升當二十四錢乃至二十六錢碎米二十二錢四厘並二十二錢位ひにて取引され居るも更に之等西貢米を日本內地より廻送せしむるとせば農商務省の公定相場石十八圓五十錢の外

東京より大邱迄の運賃（一圓七十錢）運賃手數料（三錢）驛發送手數料（七錢）小運搬賃（十四錢）合計（二十圓四十一錢八厘）となるべし

更に之を大阪より廻送するとせば公定相場（十八圓五十錢）運賃（一圓三十三錢）運賃手數料（三錢）驛發送手數料（七錢）小運搬賃（九錢九厘）合計（十九圓九十六錢六厘）となる譯なり

之に從前通りの移入稅二圓四十五錢を課するとしても二十二圓四十一錢六厘にして目下大邱に於ける碎米の小賣相場二十七八錢を唱へる時期にありては尠なからざる利益を見るべく倘若し之より移入稅を免除し得るとせば石二十圓內外を以て販賣し得る事となるべければ近時に於ける米價騰貴の時機に際し一般穀物商の大に研究を要する問題たるべし（大邱）

[illegible]砂糖は[illegible]明治製糖會社の對立を見るに至り[illegible]（釜山）

◇旅客　は益々增加を來たし之を前年同期に比較するときは乘船人員前年の四千七百三十五人に比し六千六百二十九人四割の增加、降船客四千百八人に比し五千九百二十三人四割四分一厘の增加にして收入金前年の二萬三千六百九十四圓四十六錢に比し三萬一千五百二十六圓四錢にして三割三分二厘の增加を示せり原因は連日記載せる通り內地商工界の隆盛に依り經濟界一般に渉り好況を來せし結果と認めらる團體は通常客取扱中止せられしと雖も鮮人勞働者團體の特別割引施行せられし結果又增加を示せり（釜山）

不肖なりと雖も　兩國親善のためなるべしと　代議士團に向つて張督軍の言

奉天の張督軍は代議士團を招待し午餐の饗應をなしたるが席上張督軍曰く『戰後に於ける西力東漸は火を睹るよりも明か也。支那を救ふもの第二のバルガンの地位よりするは實に友邦日本の外にあるなし。我が滿洲は十數年前日本の爲めに露國の手より救はれたるもの日本に對し御禮の申し樣もなし。近來時々意志の疏通を缺くとあるも、そこは支那の輿論や條約の手前もあらうといふもの根本の精神に於ては充分の理解あり、作霖不肖なりと雖も奉天省に督軍たる以上、東洋平和の爲めに日支親善の實をあげむ、幸に何うか宜しく支那の事情を研究して頂きたし』と頗るニコポン式を發揮したりとなむ（奉天）

吉林居留民會議員改選

吉林居留民會議員左の通り改選す

○官選　久保田梧國（鮮銀支店長）佐藤精一（軍任）（吉林日報）中村忠雄（軍人分會長）山下龍藏氏

○公選　兒玉多一（吉林時報）細野喜市（鈴吉林公所）辻辛吉（三井出張所）江川佐助（新任）

而して久保田氏は同行の內規として公職に就く事を得ざるを以て辭任したれば追て補缺員の官選あるべしと次で學務委員の選擧をなしたるが當選者左の如し

會長細野喜市、副會長兒玉多一、學務委員上原種次、米藤良光、辻幸吉氏

而して十四日より會議を開き賦課金の設備豫算の編成等を第一とし小學校敷地問題を迅速に解決し其他にも改革を決行する由（吉林）

京畿恩賜金事業

京畿道に於ては大正七年度より恩賜金事業の經理改正を爲したるが其の主要なる點を擧ぐれば（一）從來の講習所は男子のみに講習せしめたりしが道廳より女子のみに改めたる事（二）本年度より新たに蠶種講習所の開設事務として男子の普通蠶業の講習を行ふ事（三）從來養蠶に關する事業は地方費と恩賜金事業との兩面に跨り居りしが本年度より蠶業は全部恩賜金事業に統一し補助獎勵事業は勿論道府郡に於ける蠶業技術員をも全部恩賜金事業に移したる事等なりと

棉作と發芽

●慶北（慶北）　慶尚北道管內に於ける本年度陸地棉作狀況を聞くに近時一般作者は[illegible]

●晋州（慶南）　晋州地方の陸地棉は昨年發芽充分ならざりしため本年は昨年より十日程早く播種せしが連日降雨の爲め早くも發芽し成育の狀態頗る良好の由

蠶況 ‖ 清州

發蠶は忠淸北道の副業中の最重要なる事業にして既に五月十日頃全部の掃立を終りたるが其の成績良好にして昨年一萬二千枚三十石の收穫に對し本年は三萬枚六千石晶種は又普新品種なり

活佛に誑さる　芝居懸かりで　窕らの天一坊もどき　マンマと欺られた手合

活き佛といへば何處の國でも迷信的熱烈なる信仰を持つてゐると同時に腥さいものと相場は極まつてゐる▲ツイ此の頃の話だ大連遊廓逢坂町遊廓『戀亂樓』に僧俗二人の嫖客が登樓した▲若い御僧は頭は丸刈つて居るが背廣の洋服姿もう一人の男は御僧よりはズット年嵩五ツ紋の羽織に仙臺平といふ拵へ御僧の前では平身低頭御前〳〵と呼んでゐる▲若い僧は鶏卵の皮を剥いたやうな綺麗な人品、此の主從一夜の大盡遊びに約百圓ばかりの勘定書を突き付けられ『案外安いのう』と頗るお殿樣式▲處がお持合せは一錢も無いとあつて御家來は御僧を殘して金策に出掛けたが暫くすると同遊廓彌生樓の主人夫婦が伴を率ゐて恐しく遜びに來り『コレは〳〵此な御退屈の思ひを致させ恐縮至極』とばかり御僧の前に平伏し扨て來れてゐる戀亂樓の帳場に百圓束二つ投げ出して前の處も冥加至極だ、之れに御前樣のお茶代だから遠慮せずに取つて置くが好い▲で御僧一行の面目を施して戀亂樓から彌生樓に引取つて彌生樓では下にも置かぬ持て囃し振り先づ樓主夫妻は戒を授かり姑妓一同は大廣間で御說教を拜聽する▲御僧主從は三日ばかり流連中御僧は女の六人も取更へると云ふ大亂痴氣『流石にネエ』と廓の女共を驚かしたが四日目の朝の事だ御家來の紋付男が本願寺に行つて來ると出掛けた後で若い御僧雨の降るのに傘もさゝず裏口から跣足で逃げ出したので樓中大騷ぎそれ御前樣に御怪我が有つては一大事と手分けをして捕へて見ると▲何んの事もない此の男は住所不詳の日身こと大串四郎（二七）と云ふ道樂坊主で大谷光瑞伯の病氣御見舞に來た○○進枝だといふのは眞赤な僞りと知れ警務署に突出された▲恐れ入つた坊主の行り口も痛快だが這んな事までする樓主の信仰になるものも下らぬぢやないかお蔭で彌生樓では六百圓ばかり損をしたそうだ（大連）

新らしき授產

忠淸南道廳に於ては今回鮮人婦女子の副業としてパテンレース（布帛加工業）製造をなさしむべく豫て經營の目的を以て公州面民を道廳に召集し協議をなし尚公州面の貧民を集め編叺製造の傳習をなしたり（公州）

愛婦會講話會

愛國婦人會朝鮮本部にては不日文學博士井[illegible]

產婆看護婦試驗

京畿道に於ては六月十一日十三日の兩日產婆及び看護婦試驗を施行すべし右產婆試驗志願者は朝鮮總督府產婆試驗規則及び京畿道令產婆試驗施行手續看護婦試驗志願者は同總督府令看護婦規則及び京畿道令看護婦試驗施行手續の各條項に依り五月三十一日迄に京畿道長官宛願書を提出す可しと

災民續々滿蒙へ

天津附近の大水害で家も流し土地も失つた天津附近の罹災民は昨今續々遼河方面に移住する由に十五日夜も十六日も百五六十名づゝ京奉線で來て那大から北行した（奉天）

渤海の石首魚豐漁

[illegible]渤海沿岸に於ける黃花魚（石首魚）の盛漁期に入りたるを以て[illegible]漁民保護の爲め警察官を派遣した[illegible]路賑く滿洲全市に涉り芝罘上海等へ多額の輸出を爲すに至れり（大連）

陸軍大學生

[illegible]氏の來京を機とし來る二十六日午後一時より南山本願寺本堂に於て同博士に乞ひ會員の爲め精神講話會を開催す可しと

陸軍大學生一行は十九日[illegible]の陸軍大學生一行滿洲戰蹟見學中の[illegible]

[illegible]（三）本年度より新たに[illegible]

氣候の變り目と婦人病

今が油斷のならぬ時

毎年晩春から初夏に移らうとする氣候の變り目になると婦人病者が俄に增加して參ります、之は陽氣が人體を暖かつたり寒かつたりして或は血液循環の調和を亂すためであります、此の時期が一番危險な時期でありますそこで一口に婦人病と云つても色々な種類がありますが左記の容態に御心當りの方はありませんか

不順、頭痛、眩暈、逆上、肩の凝り、便秘、腹部に次いで下腹や腰の邊が引吊るやうに疼み、白帶下が絶えず氣分まで憂鬱に陷つて來ます、此の白帶下の爲めに子供が出來ぬ許りでなく甚だしいのになると永く苦しんだ上に全身衰弱を起して一命を失ふ事があります、そんなら此の怖るべき子宮病は治らぬものかと申せば決してさうではありません、それは何でありませうか、いろいろ婦人藥の數ある中に何よりも効力が早くて安全確實なる子宮病一切の適藥は『命の母』であります命の母は下山藥學博士はじめ幾多の大醫か民間最優の婦人藥と證明推賞せられたるのみならず、既往十數年間其の實驗者によつて偉効を認められて居ります

治病姙娠の實例

現に玆に掲ぐる寫眞の御主の如きも永年子宮病に惱まされ一人も子供が出來なくて困つて居られたのが『命の母』によつて病苦を除かると共に愛兒を擧げられた一人で、斯の如き實例は數へ切れぬ程澤山あります故に子宮病者は勿論、前記の容態に照し合せて少しでも異狀のある人は此際に『命の母』を服用して病苦を去ると共に欲しいと望む子寶を得られん事をお勸めします、定價は二日分廿五錢、一週分八十錢、二週分一圓五十錢、一週分三圓です。

代價の御送金を以て大學の御藥を[illegible]『婦人科專門大醫のお書きになつた婦人病の心得』と云ふ女一代の衞生書がありますから御入用の方は藥の服用と否とに拘らず東京市京橋區新榮町笹岡藥房へハガキにて御申込あれば何人にも無代にて進呈いたします

陸軍拂下　官衙並諸拂下品一切　布、襦袢、袴下、靴下手袋被服毛布　京城府漢江通三龍路三六番　佐藤古着店

むすめ印　酢の素
料理に必ず此の酢の素を御使ひ下さい。酢の素の品質は世界一であります
小賣店　近江屋大黑屋洋酒店

月やく　月やくとまり不順のため食も胸につかへ時々頭痛し足腰下腹痛み逆上頭痛甚しくて何となく氣分の勝れぬ方は御服用下さい他の藥で治らぬ方へ御申込下されば送料なしにて御知らせす
東京四谷信濃町停留場前　森田屋

りん病七日藥　淋疾はいやでも治る奇藥也　●慢性淋病●急性淋病●女子淋病●膀胱加答兒●睾丸炎●尿道狹窄　七日分一圓服用せよ說明書進呈す　大阪堺筋八幡筋北　山口藥院

タイヤ製造卸請利多賣　合資會社　神戸市元町六丁目　神戸タイヤ商會

人から嫌われるわきがを　全治して喜び御狀出の如し　音尾博士創見化學的療法無代進呈

專賣特許　男の生殖器病　眞空療法研究所　電話神田七二二番　東京神田

消化健胃　ゴルフ　東京宝町　泰昌製藥株式會社
定價　貳拾五錢　五拾錢　壹圓　各地藥舖にあり
ゴルフはタカヂアスターゼを主藥として之に人間生存上最も有効なる滋養劑を調合して調製せし美味の胃腸藥にして、胃腸病一切、榮養不良、虛弱の人に最も卓効あり

眼科專門　入院隨意　江頭眼科醫院　京城明治町東拓橫（電話二〇四四番）日曜祭日午後二時迄　江頭富雄

賜天覽　名實共ニ日本一　福助足袋　足拵きの目に著く茶席で何も好評の福助ナツタビ

化粧品石鹼問屋　あらゆるもの無手數にて取扱申候　伊勢勘號　大阪市南久宝寺町三丁目　振替大阪二八二五番

信用ある東京三金の靴
ボックス革製編上靴　第一號金四圓五十錢　第二號金五圓五十錢　第三號金六圓五十錢　第四號金七圓五十錢
ボックス革製變化靴　第一號金四圓五十錢　第二號金五圓五十錢　第三號金六圓五十錢　第四號金七圓五十錢
ボックス革製深ゴム靴　第一號金五圓五十錢　第二號金六圓五十錢　第三號金七圓五十錢　第四號金八圓五十錢
革見本寸法用紙目錄　送呈
以上の靴は精選せる材料を用ひ一流職工の技術を以て入念製造せし品質ならば紳士靴として好適品なり
御注文は靴代金へ小包送料を添へて御注文あれ
近來類似廣告あり御買求の際は東京三金に御注意を乞ふ
東京市芝區愛宕下町　三金高等靴店　電話芝六九〇番　振替東京七壹參番

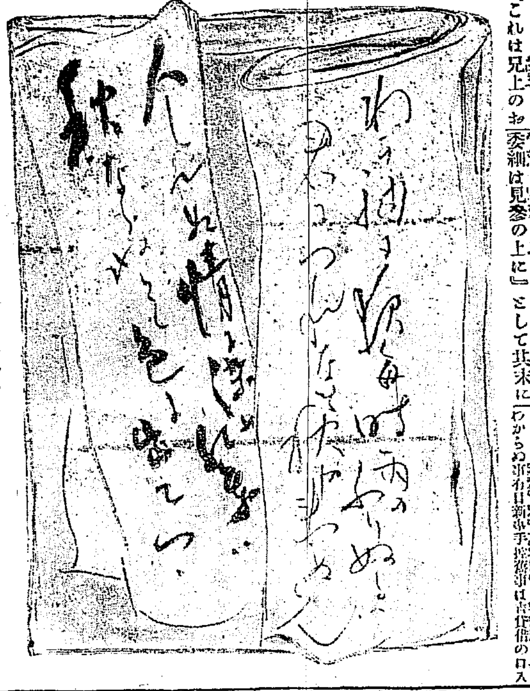
痔疾專門　入院隨意　京城明治町二丁目本町より入る中程（電話二一〇一番）　京城　久枝肛門病院

塚原卜傳

第八十席　悟道軒圓玉口演

半之丞膝を進めて 半『白妙殿が私に執心懸けて毎度の文、之れを幸ひ假初に承諾をして返書を遣はし老女早瀬を案内にして奥殿に忍び入り、白妙殿に近付かば一刀に刺殺し、首尾よくば兄宮越左内をも切つて捨て、兄上の御遺恨を晴らし、常陸の惡人を斷つて義輝公の御心を改める一つの手段、之れに勝さる上策はあるまじと存じまするが兄上の御考へは如何でござります』 主『ツム初めて承つた白妙の懸物語、併し其方の考へ通り奥殿に忍び入るは易しとして影郎御愛姿を切つて捨てなば汝の身は生きて戻れぬぞ』 半『これは兄上のお言葉とも存じられませぬ、固より兄上に代つて宮越兄妹を切つて落さば、所を去らず切腹して果つる覺悟でござります、兄上には一先づ此所をお立退きなすつて何所にかお身を忍ばせ、時節を待つて細川殿へ力を添へ、惡人の根とも云ふべき三好一黨を誅伐なさるが大切の御役目、私のことは決して御案じ下さいますな』 主『イヤ其れは不可ぬ、其方を見殺しにいたしては亡き兩親に相濟まん、何うしても拙者が命を捨てる、其方は昔の通り面を持つて細川殿方へ參つて呉れ』 半『不可ません、其方は武藝にも勝れて居るし惡人の方でも油斷いたしません、私ならば年若といひ手弱もありますから容易く奥殿に入れます、もし仕損じた所で戀は曲者往古から例のあること殊に對手が愛姿の白妙殿のことゆゑ表向きに罪人とはなりますまい、さすれば京極の家名にも瑕は付かずに濟みませう、是非私にお任せ下さいまし』と健氣の一言、主水も今は爭そひ兼ねましたから 主『それでは弟何分頼む、若し仕損じたと思つたら逃れるだけは逃れて呉れ宜いか』 半『畏まりました』と半之丞は忽ち筆を執てサラ〳〵と返事を書き、クルクルと捲いて封じ、仲間を呼んで持たせて木賀の許へ遣はし、兄と別れの盃を汲交して泪一滴溢さぬは流石武家の生れ、夜に入りましたから支度をして兄に別れ屋敷を立出でまして乳母の木賀の許へ參る、木賀は先刻の返事を受取直ぐに早瀬の許へ返事を届けましたから早瀬に於ても大に喜こんで早速白妙の前に持つて來て 早『御部屋様お喜こび遊ばせ、半之丞様から御返事でございます、定めしお嬉しい御文句が澤山あるに相違ございません、早くお讀み遊ばせ』といはれて白妙顔を赤め、開封して見ると『御忘れがたければ今宵四ツの時鐘を合圖に奥庭へ忍び申す委細は見參の上に』として其末に

『人知れぬ情けに染みし楓葉は秋ならねども色に出でつゝ』と返歌を認めてある、白妙之れを讀んでポッと顔を染めた、色の白い女が赤くなつた事で本當の櫻色、色の黒い女が赤くなつたのでは櫻色とはいへない仕方がないから投遣色、水甕ちあア色氣がない、白妙が赤くなつたのを見濟まして早瀬が 早『まア漸々御念が届いて私までもこんな嬉しい事はございません、半之丞様をお見染め遊ばしたのは二月の事二月たつて漸々嬉しい御返事、私もやつと安心いたしました、幸ひ今夜は上にもお在でなくお上樂の首尾でございます、早く御化粧なさいまし』と傍で騒がれて白妙も 白『まア早瀬やそんなに騒つてお呉れでない、半之丞様に逢ふのは實に取つても命懸けだから』勿論將軍の目を忍んで奥殿へ男を呼ぶは命懸けに相違ない、以前は遊女で大勢の男を悩ました白妙も戀には初心に歸る慣ひ、處女のやうに喜こんで居りましたが此方は半之丞四ツの時鐘を合圖にして忍び寄つたる奥御殿、非常口の戸を明くと待受けて居りました早瀬が手を取つて案内する、波打つ胸をいへながら近付いたる白妙の居間、首尾よく望を遂ぐるか否や。



あなたお酌さ
座を立つ拍子
木村屋アンパンコロ〳〵と
（京城明治町 電二八七〇）

五月廿一日九星
昔四月十二日戊辰
[illegible]

皮膚科 徽毒科 專門 外科
扇田醫院
京城太平通二丁目 電話二二五八番

▲新荷着▲
▲本セル 金拾七圓五十錢
錦砂縮緬兵兒帶 金九圓八十五錢
▲單羽折地（男物） 新柄 自金拾七圓八十錢 至金廿五圓
▲絽男羽折（縞無地） 新柄 金拾壹圓五十錢 金拾四圓五十錢 金拾八圓五十錢
▲綿セル男女物 柄御好み次第
金壹圓九十八錢 金貳圓八十五錢
金參圓八十五錢 金四圓八十五錢
御注文の際は男女年齢御申越し下さ
候は御好及び價格御見計ひ御郵送
可申上候 適當の柄 必ず
京城太平町一丁目
織元特約販賣 京城日報社代理部
電話長六〇〇九 構内十八番
振替京城三一〇番

▲双眼鏡▼
◎十五形 六枚玉 金十二圓
◎十三形 六枚玉 金十一圓
送料鮮内十二錢 外三十錢
右僅少荷著至急御下命願上候
京城太平通電話構内一八番
京城日報社代理部
振替京城三〇〇番

演藝案内

京城本町 電話一〇五〇
壽館
[illegible]
市川小梅 京一座開演
三升川治郎吉
千葉三郎兵衞
[illegible]

有樂館
電話（階上）五九七番 （階下）二〇五番
[illegible]
活動寫眞常設館
「夜の影」全二卷
原名心の糸
[illegible]

大正館
櫻井町 電話八七三
[illegible]
アンブローズの血眼二卷
[illegible]

黄金館
電話二二六六 二三六七
[illegible]
第三回 怪活劇『ミラの秘密』
[illegible]

縞セル 一反只の一圓卅錢
東京市日本橋區木石町一丁目呉服問屋谷商店にて今回三千有余反の新柄縞セル地を引取りたるが品質優等上等品なるも都合上只の一反タツタ一圓三十錢別製品五圓三十錢 [illegible]
一反の注文に一個の純金指輪を無代進呈をなすと云ふ ハガキにて申込めば色柄見本も送るとの事
[illegible]

東洋一 新形 流行の魁
靴と鞄
御旅行用
内田式ストロング靴は堅牢優美 保證す
東京市芝區 内田靴鞄問屋
電話一五五一

粹珍
東京神田 川町 天美堂
[illegible]

新荷著
懷中時計
[illegible]

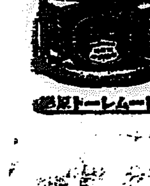
腕卷時計
ニッケル側 [illegible]
イングレッシー商會
本店京城本町二丁目 電話九七二番
[illegible]

りん病
ルーデサック
十個四十錢 六十錢
[illegible]
京城黄金町 [illegible]

毎月丸
月やくぐすり
月經不通を快く通じ
月經不順を快く調へ
月經困難を快く治す
[illegible]
本舗 東京 丹平商會藥房

りん病 淋い毒
ルーデサック
京城永樂町二丁目 ドラッグ商會 本部

七日ツヤツヤ鏡をどらん色白くなるゲンツ液
今東京で大評判の元素液色黒き顏赤き顏日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに色白く美人美男子となる全國の藥店小間物化粧品店にあり近所に品切の時は切手代用御送附あれば送品す 送料内地八錢
東京神田和泉橋 松本藥店
小壜 二十錢 中壜 四十錢



手輕で出來る
美顏術用
クレームレート
■他にない クレームレートは佛蘭西迄輸出されて居る、全く他に類のない完全なクレームで、厭な臭ひ等は毫も御座いません。
■美顏術が クレームレートは附けるとお肌の地に吸收まれ、皮膚を柔かにホンノリ艶を出しますから、手輕な美顏術として最も重寶です。
■粉刷下に クレームレートは浮脂肪を留め日焦けを完全に防ぐ上に、粉刷き下として粉刷化粧を實に美事に麗はしく致します。
レート白粉本舗　東京　平尾贊平

◎蛇の目印ポートワイン
人生の航路に
健康の救命器を携へざる人ありや
天然甘味葡萄酒蛇の目印ポートワインは貴下の健康を確保すべき唯一の救命器也
本品は天然甘味純良生葡萄酒と補血強壯劑を主成分とし精製したる醇良無比の葡萄酒にして胃の消化を助け血の不足を補ひ心身の健康を増進す
（定價一瓶七十五錢）
發賣元　大阪高麗橋　松下善四郎
◎全國到處の和洋酒食料品店藥店に販賣す

汽車時間表
京釜線（南行）（北行）
京義線（南行）（北行）
湖南線（南行）（北行）
京元線（南行）（北行）
[illegible]

京城日報

二十日 朝刊 (朝夕刊を併せて八頁)

本紙定價 ▲一部金二錢五厘▲一ヶ月金五十五錢▲前金一ヶ月金... ▲三ヶ月分金...
廣告料金 ▲五號活字一行...

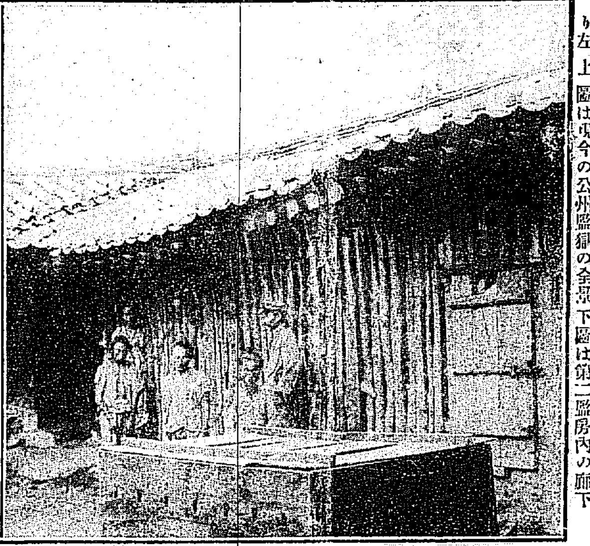
發行所 京城大和町一丁目 京城日報社
發行兼編輯人 ... 印刷人 小川三之介

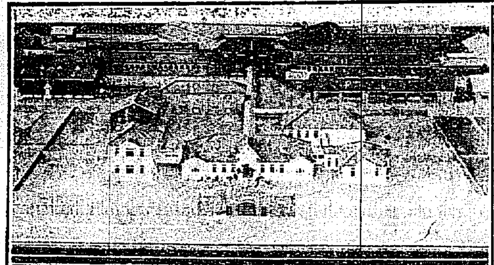
第三版 …… るに至らずして越月したり內地米十五萬九千百四十七圓にて前三月調査に依れば總頭數三百三十…… 江流域に出漁の五十五隻はシラ魚期一潮時後れたるものか一般に不漁……

朝鮮司法制度の沿革(下)

監獄の變遷＝國分司法部長官談

朝鮮に於ける監獄は從來典獄署と稱し（地方廳に附屬するものは道府郡獄と稱せり）刑曹の所管なりしも明治二十七年庶制の革新に際し監獄署と改稱して內部の所管に移し警務廳をして警察と兼掌せしむることゝせり其の結果は實際に於て監獄は獨立して存在せず全く警察の一部に過ぎざるの觀ありき然るに明治四十一年に至り日韓協約の趣旨に基き司法機關の創設せらるゝや監獄を法部の所轄に移して各道に之を布置し典獄以下の日本人司獄官吏を招聘して獄制の刷新改善に膺らしめたり是れ即ち今日に於ける監獄の基礎を樹てたるものとす當時朝鮮に於ては日本の舊監獄則に模倣せる監獄規則なるものを存したるも事實に於ては一も勵行せられたるものなく全く空文に歸し監房の如き未決、既決の區別は勿論甚しきは男女の別異をも行はざることありしと云ふ加ふるに獄舍內は狹隘陰鬱にして殆んど土窖と擇ぶ所なく其の亂雜と不潔とは想像も猶及ばざる所に極むる爲め在監者は悉く營養不良に陷り形容枯槁蓬髮鬼形を成し其の法慘の狀實に見るに忍びざるものありしなり當時獄舍として特設せられたる監獄署（今の鍾路拘置監なり）の實狀にして尙斯くの如し地方の獄舍に至りては推して知るべきなり然るに獄制改良の機運漸く到り茲に監獄官制の公布を見たるも之が實施に際し設備の完成は遽かに之を望む能はざる事情ありしが爲に各地在來の獄舍に對して修築を加へて假りに監獄に充當し事務を開始したりと雖も拘禁行刑上の不便言ふべからざるものあり延て改善意の如くなるを得ずして屢次反獄逃走等の事故を發生したりしが明治四十二年に至り司法及び監獄の事務を擧て日本帝國に委託したる結果として統監府監獄を設置せられ其の事務は普通監獄の例に依り取扱ふことゝ定められたるを以て［刑務］及び處遇の方法等概ね範を內地に採りて著々改善を遂げ又獄舍其他の設備に付ても一定の計畫を樹て其の實行を期しつゝある中明治四十三年日韓併合の大業成りたる結果朝鮮總督府監獄官制を布かるゝに至りたりと雖も既定の方針には何等の變更を來たさゞるを以て之を繼續して依然其遂行に努めたり而して明治四十五年に至り監獄令及び監獄施行規則を制定して拘禁行政に關する形式及び手續を統一し又工費三十萬圓を投じたる京城監獄の築造の竣功を告ぐると共に長刑期囚を集禁して行刑の適實を圖りたる等監獄の內容及び外觀に對して著しく改善の實を擧げたり而して今や本分監の全部は新築又は改築を了へ舊韓國政府時代の不完全なる獄舍は殆んど地を拂ふに至り隨て戒護上の安固を加へ拘禁上の便利を得るに至りたること實に鮮少ならず彼の往年頻出したる反獄逃走事件の如きは既に全く其の跡を絕ち處遇、敎誨、衞生、給養等に至るまで之を當時に比すれば實に隔世の感あるを禁ずる能はざるものあるに至れり其の結果は漸次濫悪の兆候あるものを續出し隨て假出獄を許可せらるゝもの年々其數を增し統監府監獄設置以來大正六年までに千二百人を算するに至れり唯だ憾む所は逐年入監者を增加するも監房は之に伴うて增築することを能はずして常に過度の收容を餘儀なくせらるゝが爲法定の分類を嚴行し又最も有効とする所の處遇方法を實行することを得ざるの一點なりとす作業に付ては既に全囚の就業を見るに至り之を往時就業者の頗る寥々たりしに比すれば實に霄壤の差あり而かも之れに依りて啻に在監者をして營生の道を會得せしめたるのみならず監獄の收入をして一箇年廿萬圓を超ねしめ其他受刑者を監獄の建築工事及び雜用に使役し之に依りて經費の支出を節したるの大なるものある等財政上に及ぼせる利益は蓋し鮮少ならざるものあるを信ず以上は監獄に付て變遷の梗概を敍述したるに過ぎざるも尙此の外に特筆すべきの一事は出獄人の保護事業の勃興なりとす抑該事業は監獄に於ける行刑と相俟て再犯防遏の目的を達するものにして刑事政策上最も重要視する所の社會的事業なるも一般民人に於て其の必要を認識するに至らざりしが爲め發達猶ほ遲々たるものありしを以て總督府は特に補助金下附の途を開き又官邊の者をして率先其の創設及び經營の衝に當らしむる等の方法を執りて其の發展を促したる結果今や監獄所在地にして其の設置を見ざるなきに至り且つ著々保護の實績を收むるの傾向に在るは監獄制度の刷新と相俟て洵に喜ぶべき所とす然れども之を全程より見るときは僅に改善の緒に就きたるに過ぎず前途は猶頗る遼遠なるを以て吾人當局は一層の奮勵を以て所期の目的を達成せんことを努めつゝあり





右圖は明治四十一年韓國監獄官制の實施に依り日本人司獄官吏の招聘せられたる當時の公州監獄監房にして未決囚が上圖の爲め出房せるところを撮影せるものなり中央に在る箱は藥湯槽なり左上圖は現今の公州監獄の全景下圖は第二監房內の廊下

愛劍趣味(十)

片岡鶴泉

吾曹本來の目的は新古刀劍の實質を研究して之れに對する鑑識眼を向上せんとするにあり然れども尙ほ一回簡單に沿革を述べ置くの要あり即ち第四期の末天正より慶長に涉り戰亂の爲め盛んに粗製濫造せられて品位なき太刀多となりたるが山城に埋沒悲間［?］現はれて平凡化したる鍛冶の術を稍や回復せられ其の門下より堀川國廣、肥前忠吉の如き名工を出せり（國廣を明壽の門下と見ることは余も異論者の一人なり）天下大阪城の旗風に靡けば名工此の所に集り國助（門下には助廣）國貞（子の眞改）を始め忠綱、包保、國輝等其の技を競ひ德川氏將軍旗を武藏野に樹つれば彼の入道虎徹及び繁慶、是一、康繼等の巨匠江戶に集り來る薩摩に主水正清、筑前に末信國安藝に輝廣、南紀に重國、加州に兼若、會津に三善長道、仙臺に國包現はれ何れも末古刀を凌駕するの勢ありき然るに元祿時代に下つて最早治に居て亂を忘れ上下風流三昧に耽り腰刀の外裝は金銀象牙の贅を盡せしと雖も其の中身は竹篦に化せるあり從て又良工を出さず赤穗義士の誠忠壯烈も一時人心を興奮せしめたるに過ぎざりき殊に注意を要するものあり其は刀身の鑑定書たる折紙の如きも天明前後に於ては澆季の本阿彌家が貫白の多寡によつて怪しき鑑定を附したりとのことなれば輕信は失敗の一種となるべく反說慶長以後の作刀を總て新刀と呼び來りしは維新前の見地なるを以て慶長より今日まで三百二十餘年間を通じて一樣に之を新刀と稱するは妥當ならず尠なくも文化より慶長に溯るものは凡て之を近古刀と唱へ然して元曆以前を最古刀其の以後を中古刀と假稱するの便なるを信ず元祿より百十餘年を下りし文化の五年には英船長崎に來航翌年獨逸人シーボルトも又來り同七年英船常州沖に來泊せり其の翌年英國船打拂の命ありて外交の葛藤漸次頻繁に赴けば時勢は將に一轉化を見んとす刀劍界に於ても羽前より水心子正秀の如き第三革命者江戶に出で來り次で直胤、清麿、信秀等現はれ土佐には南海太郎朝尊出で、九州を風靡せり以上の作刀中其の技巧に於ては一、古名刀の面影なしとせず然れども品位や雅致に乏しく將た新氣は拔けて徒らに地鐵の光る等之れ所謂新々刀の新々刀たる所以か凡そ鍛冶の術は精神の凝結に外ならず故に古人の練膽は今人の遠く及ばざる所亦た如何ともすべからず彼の水心子正秀が文才は巧みに古今の作刀を是非せるのみならず其の自作刀は能く相傳上位を摸し或は古備前に傚ふと雖も之れ所謂書畫の僞物と同樣なり恰も墨色淋漓たるも氣韻なきは勿論總て不自然なるに均しく只だ異なる點は書畫の僞物は一片の反古たるべきも正秀の作刀を以て卷藁を試し切すれば土壇に拂ひ能く猶又犬猫を打たんか胴落やや疑ひなきにあり

蠶業新報

五月號發行 一部定價金十九錢 十二部前金同二圓 見本郵券十九錢要

論說 …山博士 論叢 一般期の不眠性濃病 町田氏△眠起の保護 拔び高橋講師△桑樹の加害天牛類 名和技師△ナフタレン貯繭成績 前川講師△…中山彦…△新絲の現在及將來 大久保氏△米價に高きか 西垣學士△…佐藤法學士△生絲と貿易 本間技師△…△…尾張平野の…△天蠶… 三百圓懸賞論文

發行所 東京市日本橋區… 振替東京五九七九 蠶業新報社

少女畫報

◎汐干の月影（口繪）池田輝方筆
◎欄干に倚りて（原色版）
◎桑を摘みて（オフセット版）若島柳三筆
◎油斷は出來ぬ 宮田校長
◎紫陽花（伊藤博士）
◎動物（竹島教諭）
◎さすらひの唄 矢口
◎學校嫌ひ 清水町子
◎蝶子の父
◎白菊
◎花物語
◎お伽話

六月號 東京京橋區… 振替四千九百番 東京社

可愛らしい 少女新聞 見本進呈

◎値上廣告
一、內地人 二圓二十錢
一、鮮人 一圓五十錢
諸物價騰貴に付五月十八日より上記の通り工賃値上仕候也
大正七年五月十八日
京龍錺業組合

△絕えず流るゝ水は常に清澄なり▽
★サッポロビール
△多く賣行くビールは常に新鮮なり▽
大日本麥酒株式會社 京城出張所

改訂增補 最新財政學
法學博士松崎藏之助先生著 菊判全一冊 上製金三圓五十錢 並製正價金三圓 送料內地金十二錢
第八版出づ 久しく絕版となれる本書は前版印刷後何日ならずして印刷所祝融の災厄に遭ひ爾來著者は懇切なる改訂に從事し專ら完成を期せらる、今回漸く本版成るに際り其內容は從來に比し二章十六節を增加し全部に涉り幾多の增訂を施され大戰後に來るべき斯學上の變改に論及して餘蘊なく而も著者獨特の卓見を披瀝して巧に學理と實際との兩方面より縱橫に說述して遺憾なく眞に最新の名に背かざる學界無比の良書也。
松崎先生著 訂正增補 農業と產業組合 菊判全一冊 上製一圓九十錢 並製一圓五十錢 內地送料十二錢
增訂改版 經濟學要義 菊判上製全一冊 金七十五錢 送料金八錢
東京神田一橋通町 振替東京三七〇番 有斐閣發行

印刷料値上謹告
諸材料暴騰致候爲め止むを得ず本月より印刷代二割方値上實行の事に相定め候此段謹告仕候也
大正七年五月
京城印刷組合

建築界の福音 石灰
■本石灰 は平壤小野田セメント會社の製品にして色澤純白品質精良、耐久力に富むこと內地產を凌駕せり
■本石灰 は運賃其他の關係上頗る低廉にして京城古市町倉庫渡し壹俵六斗入金壹圓七十錢に提供す
■本石灰 は御申込次第速ちに見本進呈且つ地方よりの御注文に對しては特に勉强多少共御用命を乞ふ
地方特約販賣御希望の方は左記苦米地商店に御申込ありたし
小野田セメント株式會社平壤支社
一手販賣 三井物產株式會社京城支店
特約店 京城古市町一四番地 電九四一、三一〇八番 振替京五三 苦米地商店
平壤特約店 平壤港町電話一三六番 富田商店
京城特約店 京城旭町一丁目電話九八四番 戶澤商店
京城特約店 京城本町二丁目三十番地電三七〇番 山本村太郎

◎東鐵同盟妥協成立
十七日より汽車運轉を開始す

東清鐵道同盟罷業の導火線は鐵道學校長ラマシスキーの暗殺並びに過激派政府代表選擧候補者オリホヴイッチの負傷に在るを以てホルワット將軍は犯人の搜索を爲し遺族弔慰料を寄贈することゝし妥協成立し十七日より汽車運轉を開始せり(哈爾賓特電)

◎セ軍鐵橋修復著手

セミヨノフ軍はオノン河鐵橋を過激派に破壞されたる爲め之れが修復迄河岸の陣地を固め哈爾賓より修繕材料の到著を待てり尙ほセミヨノフ側の鐵道廳並びに軍本部はボルジヤに置かれたり(哈爾賓特電)

◎ケレンスキー華盛頓へ

社會主義者の機關紙は述べて曰くケレンスキーは二十日太平洋の某港に到著し華盛頓の露西亞大使館に入る可しと(紐育電報)

◎トリエスト住民の困憊
墺國の遊樂地=生産率著しく減退

トリエストは風流と遊樂とに於て伊太利のゼノアに比す可き土地なりしが今や同市殘留の各階級人民は集會を開き救助を要求せり同地の窮狀に關する陳述に據れば同市には物資の餘れるもの無く戰前の富者は目下乞食同樣となりて命を繋ぎつゝあり營養不良と饑餓の爲め勞働者は日々の勞役に服する能はず戰前の生産率に比するに其半にだに達せず疾病及び死亡者の率は恐る可き程度に增進せるが市中は常に墓場に化せんとしつゝあり(羅馬電報)

附記 トリエストは墺太利の西南部にあり同國第一の貿易港にして近年鐵道開通以來獨逸との關係深きに至れり現戰役中墺國の軍事上の要地なり

◎殘忍なる獨の攻擊

米國赤十字社長ヘンリーデヴイソン氏は曰く佛國、伊太利の後方に於て獨逸飛行機は何等の武裝なき婦人、老人、小兒に對し夜間爆彈攻擊を行ひ彼等の恐怖に依り講和促進の目的を遂せんとしつゝあり(紐育電報)

◎砲戰激烈を極む

敵は我先進陣地ヴアルボシナに於けるフオーチニ及びコルデチエレに接近せんと企てしが我砲火に遭ひて失敗せり、グアルラガリナ、ザアラルサ及びアシアゴ高地にて彼我兩軍間益々激烈なる砲戰あり敵陣內に爆發及び火災の起るを認めたり(羅馬電報)

◎支那軍事委員招待

我軍事委員は十八日夜公使館に支那軍事委員其他關係者を招待して盛宴を張れるが段祺瑞、劉海軍總長曹交通總長靳將軍等二十一名來館し祝杯を擧げたり我軍事委員は二十日午後馮總統に謁見し順次歸朝の途に就く由(北京特電)

◎前露皇太后

キエフよりの來報に依ればマリヤフエドロフナ皇太后はキエフに至り宮殿に入り獨逸の爲めに自由の身となれりと(哈爾賓特電)

◎帝國鐵道協會定時總會

帝國鐵道協會第十五回定時總會は十九日午後一時より丸の內同會に開催幹部委員□員の參集する者六十餘名副會長古市工學博士司會の下に議事を開き事務會計の報告、特別會員範圍擴張に關し定款改正を附議可決し評議員の半數改選ありたる後島鐵道院技監、井上陸軍中將の講演あり終りて懇親會を開き午後七時散會せり(東京特電)

◎陸大見學團

陸軍大學校長淨法寺中將以下教官學生七十三名十九日午後六時半來安市中各旅館に分宿せるが二十日より九連城義州の戰跡視察の筈にて大山公も一行中にあり(安東縣特電)

◎無線電信計畫
既に敷地を選定

遞信省にては福島縣沿岸に無線電信設備の計畫あり十四日同縣相馬郡原の町字櫻井に二萬坪の敷地を選定せり此無線電信は頗る强力にして通信區域の中に桑港、浦鹽等も包含さる(東京特電)

◎議員視察團一行

衆議院議員視察團は十八日午前零時哈爾賓着元氣旺盛なるが同日日本側銀行會社の午餐に招待され夜は支那官憲の晚餐會に列し十九日は佐藤總領事の午餐會に列し夜行列車にて長春に向へり一行到著の際は日支官民の熱誠なる歡迎ありたり(哈爾賓特電)

◎京城最近商況

京城商業會議所の調査に據る客月中當地の商況を見るに米及び雜穀類は當月上旬頃は上値一方にて相當出廻を見たるも中旬に至りては鈍狀を呈し更に下旬に及びては政府の

▲外米管理令 の發布あり之れが反響にて多少の動搖あるべく豫想されしも差當り鮮産米に適用なき旨當局の聲明ありて格別の變動もなく在荷は相當豐富なるも內地相場の保ち合ひなるに觸れて當地相場も稍や軟調を帶び商談捗々しからず大豆は月初以來漸次低落し石平均最上十五圓九十五錢五厘最下十五圓三十二錢の相場にて賣買せられたり輸移入品の大宗たる綿絲布は前月に於て原棉高の關係上一時高値を示したりしが本月に入りて大阪に於ける綿絲布の相場暴落の影響を受け當地相場も

▲下値の趨勢 を辿り市場の取引活潑に行はれず其他夏季用品に於て多少の仕入なきにあらざりしかど一般の商況は全月を通じて頗る不味の狀勢裡に越月せり、今京城稅關出張所の取扱に係る本月中の當地貿易額を見るに輸移出品價二十七萬一千百四十九圓移輸入品價二百十二萬八千七百二十四圓合計二百三十九萬九千八百七十三圓にして之を前月に比すれば輸移出に於て十二萬一千七百二十九圓を減少し輸移入に於て十七萬六千六百五十七圓を增加せり而して更に之を前年同期に比較する時は輸移出に於て十二萬八千八百四圓輸移入に在りて四十九萬七千八百四十五圓の孰れも增加を示せりと

◎對伯貿易注意

伯剌西國向輸出品に關し『サンパウロ』駐在本邦總領事よりの來電として當局の發表する所に依れば歐洲戰亂の影響として伯剌西國に於ける一般日用品、化粧品、藥品の缺乏甚しく其の結果伯國の商人は日本商人と取引を開始したき希望を以て當館に向け其の宛名を問合せ既に註文を發せる者益々多きを加へたる狀態なるが日本當業者にして需者多きに乘じ粗製品を輸出するが如きことあらば獨り此種の貨物に關する信用を失墜するのみならず將來に於ける我對伯貿易の發展上多大の障害を來すべきを以て各當業者に於て右樣の事なき樣十分注意あり度しとの事なり

◎郵便貯金增加

爲替貯金管理局にては一兩日前大正六年度の郵便貯金利子の決算を了せるが今郵便貯金の現在高を聞くに預入人員合計に於て百二十五萬三千五百一人、預金額合計に於て一千二百萬三千二百四十五圓四十八錢一厘を算せり而して右の內利子額合計四十四萬五百五十九圓十六錢を示せるが之を前年度末に對比する時は預入人員に在りて十八萬四千百九十名歩合一割七分二厘を、現在預金額に於て百八十一萬四千八百三十圓六十四錢七厘歩合一割八步七厘を、元加利子額に在りて六萬一千二百七十三圓十六錢步合一割六歩二厘を孰れも增加せりと今大正六年度末現計に於ける內鮮人別貯金狀況を示せば如左

摘要		日數(圓止め)	對前年增
預入員	內地人	[illegible]	[illegible]
	朝鮮人	[illegible]	[illegible]
預金額	內地人	[illegible]	[illegible]
	朝鮮人	[illegible]	[illegible]
元加利子額	內地人	[illegible]	[illegible]
	朝鮮人	[illegible]	[illegible]

◎滿洲粟激增 (輸入)

米價高と朝鮮米產地品薄とにより近來之が代用品たる滿洲粟の朝鮮移入激增し居れるが四月中に於ける鐵道輸送に依れる滿洲粟の朝鮮移入約五千七百噸を算し之を前年同期の千百六十四噸に比し五倍の激增にして本年一、二、三の三箇月の合計三千九百餘噸に比して尙十四五割の增加を示せり其著驛としては南大門最も多く元山、群山、釜山、大邱、大田、江景等之に次げり

◎京管石炭輸送

滿鐵京城管理局にては廿六噸積の石炭車を以つて來る廿二日より當分の內草梁、木浦、仁川、新義州、安東縣發石炭の輸送を開始する由

◎京畿租稅徵收狀況

本年四月末現在大正七年度京畿道租稅及び驛屯土收入徵收狀況を聞くに左の如し

▲地稅▲ 調定濟額に對して全部の收入あり

▲市街地稅▲ 十萬五千八百三十二圓の調定濟額に對して八萬一千百六十四圓の徵收あり此收入步合七分六厘六毛

▲戶稅▲ 三萬七千二百十七圓の調定濟額に對し三萬六千百十九圓の收入あり此徵收步合九步八厘九毛

▲家屋稅▲ 八千七百九十三圓の調定濟額に對して三千七百七十八圓の徵收あり此收入步合一分一厘九毛

▲得稅▲ 二千七百五十六圓の調定濟額に對して二千四百七十五圓の徵收あり此收入步合八分九厘八毛

▲酒稅▲ 四萬二千五百四圓の調定濟額に對して四萬一千百十六圓の徵收あり此收入步合九分八厘二毛

▲煙草稅▲ 六萬二千三百一圓の調定濟額に對して五萬一千八百七十三圓の徵收あり此收入步合八步三厘二毛

▲鑛稅▲ 一千百四十五圓の調定濟額に對して八百三十八圓の徵收あり此收入步合七步三厘一毛

▲雜稅▲ 四百二十二圓の調定濟額に對して全部の徵收あり

▲銀行券發行稅▲ 三萬九千八百二十一圓の調定濟額に對して全部の徵收あり

▲租稅計▲ 三十三萬三千三百九十八圓の調定濟額に對して二十五萬五千百十三圓の徵收あり此收入步合八分四厘九毛

▲驛屯土收入▲ 百五十一圓の調定濟額に對して九十圓の收入あり此收入步合五厘九毛

◎米作反別及收穫

京畿道管內に於ける大正六年度米作反別及び收穫狀況を聞くに作付粳米百六十三萬五千二百三十七反糯米十六萬四千八百五十三反陸米二萬一千九百九反合計百八十二萬一千九百九十八反にして此收穫高粳米百四十三萬二千百六石陸米一萬四千五百九十八石合計百九十八萬零七百四十九石なり之を前年に對比する時は粳米糯米の作付反別七萬一千四百六十反を增加せるが其の主なる理由は挿秧期に於て雨量少かりし爲め道內を通じて植付不能地なりしもの漣川外十郡に亘り斗落換算上より如上の數字を見るに至れり又陸稻は前年に比すれば作付反別に於て二千六百七十六反步を增加せしも旱害と稻熱病發生せしめ收穫の減少を見たる譯なり

◎朝鮮精米社出願

天日常次郎賀田金三郎荒井初太郎氏等外五名發起人となり今回資本金五十萬圓を以て朝鮮精米株式會社創立の計畫を立て既に其筋に認可申請をなしたり事業の內容は京城仁川に於ける某精米所工場を買收し更に規模を擴張し新に群山にも支店工場を設置する筈なるが總株數一萬株は全部發起人に於て引受くることゝなり公募せず精米及び穀物の賣買並に委託賣買を行ふ筈なりと

◎新炭業組合計畫

京城龍山在住の薪炭卸小賣業者四十餘名は客月二十日旭町護國寺に會同し薪炭商組合の設立に付協議する所ありしが鮮人側出席者僅かに三名二名の反對者ありて一致を見るに至らず其儘散會せしが爾來組合の成立を計る爲め鮮人側の贊同を得んと目下之れが勸誘に奔走しつゝありと傳へらる同組合設立計畫の目的は(一)組合員相互營業上の改善發達に必要ある事項を討究し及び需要供給の平衡を計る事(二)組合一般の善良なる商德義を涵養すると同時に當業者の商習慣の統一を企圖する事(三)組合員相互の利益を殺ぐが如き競爭を防止し常に信用と德義を重んずること(四)包裝を一定する事等なりと

◎京畿耕地面積

大正六年末現在調査京畿道管內耕地面積狀況を聞くに畓百九十九萬八千二百四十五反田百八十八萬四千五百六十六反にして內自作畓五十萬零九千七百廿八反田五十九萬五千二百七十五反小作畓百四十八萬八千五百十七反田百二十八萬九千二百九十一反步なりと

◎元山の局長會議

元山郵便局を中心とする附近の郵便局所長會議は大木局長主となり二十一日より三日間元山郵便局に於て開會する由

◎仁川小學新築可決

仁川公立小學校新築問題は十四日學校組合會を召集開議したるが委員附託となり其後十六十七の兩日に亙り調査審議したる結果一部の修正を爲したる案全部可決し十八日午後八時より再び組合本會議を開催し委員長は調査報告を爲し原案通り可決したり工事は其筋の認可あり次第直ちに著手し本年度內に於て之が全部の完成を期すべく大正八年度の新學期より生徒を收容すべき豫定なりと(仁川)

◎露米通商協會設立
發會式擧行=席上基本金募集

過般來當地に於て露米通商協會設立の議ありしが愈々其の發會式を擧げ露西亞側より四十名米國側より副領事鐵道委員を初め多數の出席者あり本會を露亞極東通商協會と命名し基本金を募集し席上直ちに約二萬八千留を得たり各紳士の演說に依るも本會が未だ開かれざる西伯利と米國との商品交換及び當市に於て有力なる活動を爲し露米兩國の經濟的接近を計らんとするに在るは瞭かなり之に就き注意を要するは本會の露國側代表者に選ばれしウストルゴフが前交通次官として昨年來當地に在りて專ら政治的奔走を爲し其の立場はホルワット、セミヨノフ一派と全然反對にある事と發起人の一員たるマツオーキンなるものが從前より極端なる排日を標榜し日本及び日本人を罵倒し來りし者なる事なり(哈爾賓特電)

◎伊東博士來京

東京帝國大學工科教授工學博士伊東忠太氏は十九日夜入京巴城館に投せり

◎矢野監理課長出張

遞信局監理課長矢野義二郎氏は十九日京城發元山に出張したるが二十一日より同三日まで開會する局所長會議に列し廿四日歸任の豫定なり

人事消息

▲加茂能治氏(小野田セメント會社技師) 十九日夜入京天眞樓へ
▲高木義英氏(同會社鐵道技師) 同上
▲中谷德太郎氏(大日本人造肥料會社長) 同上
▲鈴木一宣氏(成南久原鑛業所員) 同上
▲吉村謙一郎氏(鎭南浦稅關長) 同上浦尾へ
▲大田黥治氏(興國鑛業會社員) 同上朝鮮ホテルへ
▲エーアイブナー氏(支那交通部員) 同上
▲佐田謙三郎氏 十九日夜退京

◎百閒百種◎

大學教授は別として其他の學者連は博士になるのに一生懸命になつて居る▲と云ふのには頗る面黑い處があるからと今更驚くのは少々野暮の沙汰だが▲工學博士になれば獨立して工務所などの看板を懸けるのに都合が善い▲理學文學などの博士になると著書の賣行に大關係がある原稿料なども高くなる▲醫學博士になると商賣上に大影響のある事は當然▲法學博士は辯護士商賣の看板である▲併し醫者が醫學博士を欲しがる如く辯護士が法學博士を欲しがるにも未だ〳〵潮時があるから面白い▲年齡で云へば四十前後商賣もそろ〳〵繁昌しかゝつて來や、油の乘る頃が遮二無二博士號が欲しい時である▲然るに其年配を過て五十となり六十となると最う博士號が無くても一パシ門戶を張つて一流所で押して行かれる樣になるから博士號も餘り有難がらなくなる▲同じ博士號を貰つても貰ひ時があるから何時貰つても宜いと云ふ樣な譯にも行かぬらしい▲矢張り之れも當節だからチアと或る博士號を貰ひ損つた人の話

遺澤八道　鳩洲　立花小一郎
司法檢全百政振。英雄落眼何如神。九泉把酒應微笑。遺澤偏霑八道民。

柳橋竹枝
長安四月花落時。柳色依依雨絲絲。深院蕭蕭人不見。儂叔狂蝶戲南枝。

大阪財界便り

り居れる際にして若し米國が制限を[illegible]に於ては產地は生產制限を[illegible]して既に成就せんとして[illegible]の指[illegible]工業家の日支合辦鐵道敷設事業に[illegible]部分減退せるを以て本邦商人は昨[illegible]廣東福州香港各地に[illegible]せる支店[illegible]への輸出頗る增加しなる南京豆色に昨今にだける相場は何れも不況[illegible]の成行を示し居れるが[illegible]

◎平北の山火事

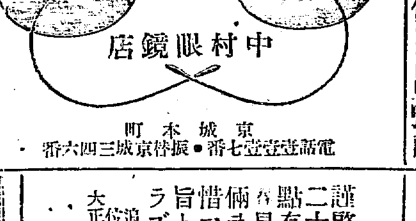
[illegible]

◎大連の火事

[illegible]

法人登記

揚口地方金融組合長李贊榮ハ任期滿了ニ付辭任シ左記ノ者組合長ニ任セリ
揚口郡揚口面上里[illegible]
大正七年五月拾六日登記ス
京城地方法院揚口出張所

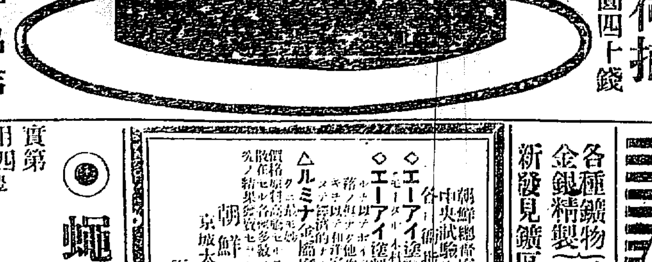


定價表進呈
京城本町
電話壹壹七番・振替京城三四六番

物品賣却

一第一號 古金物類 四點(約六三、〇〇〇封度)
一第二號 雜品類 四拾八點
一第三號 古制服類 拾八點
以上龍山當局倉庫渡
右當局經理課ニ於テ賣却ス
希望ノ方ハ來六月五日午後二時迄入札相成度入札保證金ハ見積價格百分ノ拾以上但入札心得ハ前記倉庫ニテ熟覽ニ
承合ノコト 以上現品得ハ契約書案等當課ニテ
大正七年五月二十日
南滿洲鐵道株式會社京城管理局

新形荷揃
特價一圓四十錢



塚谷洋品店
東京神田南神保町
京城出張店
京城本町

△地方人販賣外交員募集
貴賤貧富ヲ問ハズ何人モ最モ必要
欠クベカラザル頗ル經濟的實行
ガ如キ□專賣特許家庭必携品
△獨立營志堅固ノ人物ヲ望ム
△日收一圓以上確實京城黃金町二
電話一四二五 振替京城四五二八 山陽商會

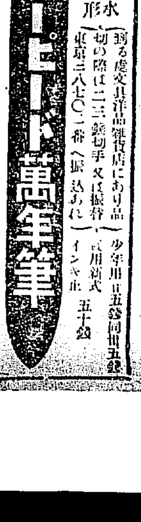
開業二十週年記念
自祝

謹啓各位益々御清穆ノ段奉賀候弊園事開業以來二十年ヲ迎ヘ樓屋舊式ニテ衞生上其他不備ノ點有之御客樣ノ御滿足ヲ得候事如何ト存ジ今春早々樓主北京天津及上海ヘ出張シ獨特ノ技倆ヲ有スル料理人ヲ招聘シ設計セシメ重資ヲ惜マズ洋式ニ改造裝飾致候就テハ淨潔丁寧ヲ旨トシ宴會出前共特別大勉强仕候間多少ニ拘ラズ御用命ノ程伏シテ奉願上候
追而現在備付ノ下宴臺ハ此際自祝ノ爲メ向フ一ケ月間ニ限リ各位ノ御任意ニ御使用被下度候
大正七年五月二十日
京城太平通二丁目五十八番地電話一四四二番
高等支那料理元祖麗華園 主人楊本賢 謹白

易斷
高島易斷本部主事高島香明先生出張
受付午前八時より十一時まで午後二時より十時まで
場所 京城旭町一丁目日ノ出湯前(電話一五七)
神易協會
高島易斷本部

各種鑛物分析依賴
金銀精製に應ず
新發見鑛區買入
京城旭町一丁目七
中村分析所
電話一〇一七番

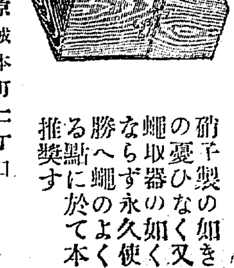
朝鮮總督府中央試驗所發明
各種指定品
エーアイ塗料 ルミナ金屬磨 販賣
◇エーアイ塗料用途 壁、天井、ドア、窓枠、掲板、紙類、煉瓦、石、セメント、木材、金屬、ガラス、煙突、パンキ下塗
◇エーアイ塗料ノ特徵 耐水性甚大ニシテ風雨寒暑ニ強ク耐熱性大ナル□□ヲ以テ他ノ塗料ト異ナリ一精者力強ク決シテ剝落ノ恐ナク又他ノ塗料ニ比シテ優美ナリ、一ペンキノ如キ臭氣ナク光澤アリ又經濟的ナルコト他ニ類ナシ
△ルミナ金屬磨用途 眞鍮、銅、ニツケル、錫、其他鐵ヲ除キ一切ノ金屬ヲ磨クニ最モ好シ
價格原料高騰セルニモ不拘從來通リ價格ヲ以テ發賣、斷ジテ値上セズ在來市場ニ散在セル各種多數ノ品ハ總テ狀態アリ千光共ニ朝鮮總督府中央試驗所ニ於テ研究ノ精果發賣セルモノニテ理想的ノ良品也
朝鮮一手販賣元
京城太平通二丁目(電話七二七番・振替京城三二七九番)
石炭商 西崎商會



特約販賣店
發賣元 京城永樂町二
魚形水・雷形(到る處文房具店雜貨店にあり品切の際は二三錢切手又は振替にて御注文あれ)少年用五十錢同口五十錢 實用新式 東京二八七〇一番 インキ止 五十錢
東京淺草新福井町 愛隣製作所 堀崎商店

◎蠅取器 (一個六十錢)◎

實用新案特許第四四五〇八號 豐田式蠅取器



硝子製の如き破損の憂ひなく又自動蠅取器の如く高價ならず永久使用に勝へ蠅のよく捕れる點に於て本品を推奬す

製造發賣元
和洋金物商
京城本町二丁目
釘本藤次郎本店
電話長四五・二七七・四
振替口座京城二五六番

地方特約店募集す

[illegible]
官憲の言動は目下極力[illegible]格[illegible]
引下策を講じて從業者の保護を圖[illegible]

△南支發展好機 南支方面[illegible]盛んに南支商人と取引をなしたる[illegible]は英國の勢圏なる爲め本邦一流商[illegible]躍進の勢力は全く衰へ英國品も大[illegible]原諸氏の計畫は其後の成行判明せざるも鐵道布設方面にも計畫あり又金融案としては臺灣銀行の福州[illegible]獨英品の減退期に地盤を造るの要あるべしと

△乾物相場不況 英米方面[illegible]の運賃より[illegible]して漸次輸出は減退せざるを得ざることゝなるに至りたる結果として産地市場の不況を來[illegible]にあらずんば市場も又輸出旺盛同時に於けるが如き高値を呈することは絕對に能はざるもの〻如し

[illegible]に及び雜木二萬餘本を燒失八日午前九時頃鎭火せり

[illegible]死となりて消火に盡力したる結果三時漸く鎭火せり燒失大豆三百車此の損害約六十三萬圓原因は埠頭苦力の煙草の火よりならんと（大連特電）

△龍山の坊ちゃん孃ちゃん ―本社のお伽講演を聽く（巖光氏の講演）

●大豆から理想的食品

ソーソーヤ

―米國大發明家マキシム氏の新製品
◇大豆を原料に合成分を按配し ◇濃厚な硬い糊の様に作らる

大豆を食へ ―田尻東京市長の豆糟飯を思はる

此の戰爭に於ける主要問題の一として盛んに食料問題が高唱され研究されてゐるが、玆に米國の無煙火藥の發明者であるハドソン、マキシム氏が大豆から精製した『ソーソーヤ』といふ新製食品を發明し大に大豆を食ふことを勸めてゐる、近頃頻に豆糟飯の食用を說きつゝある田尻東京市長が思はれて面白く特にわが鮮滿は大豆の本場であるからこの際こんな研究も面白いだらうさて某氏は語る

マキシム氏の『ソーソーヤ』といふのは、ソーヤ豆即ち大豆を精製したもので云ふまでもなく大豆は脂肪と擬蛋白に富んだもので其

■滋養質 は普通のビーフステーキにも優るものであるが常食として使用するには幾分か特種の取扱を要するといふので、マキシム氏が過去數年間の研究によつて案出した製品である、でこの滋養分に富んだ製品を滋養分の少い食物に混じて食ふと其食物の

■營養分 及び味を增加することになるのであるから、結局一個の食物貯藏劑と云ふことも出來るのである、そして此製品は原料に合成分として野菜、果物、肉類等を極めて釣合ひよく加へて極めて濃厚な硬い糊の形に作られたもので、一見南京豆製のバタに似て居るが、既に立派な完全食料であるから、南京豆バタより遙かに香觸りが好いのである之を其儘

■パンや燒パン、馬鈴薯と共に食ふことも出來、又は牛酪と等分に混ずると味を增してバタの分量も二倍にすることが出來る、また單に熱湯を加へると美味のスープも作れ、殊に之に熱いミルクを加へると最も立派なスープとすることが出來る、それから『ソーソーヤ』一分と馬鈴薯三分の割に混じ、其儘熱し、又は少量の牛乳を加へて熱しても旨い

■御馳走 とすることが出來、肉汁及び肉ソースと混じて用ふれば其價値を進め、牛鳥肉の料理に之を用ふれば、最も好結果が得られるといふことで尙また『ソーソーヤ』の一に對して三の割合に普通の肉や切肉に混じ、若くは之れをぬりつけて燒いたり焙つたりすると味を美にし肉を和かくするといふのである

◆牡丹會の二日目 午後一時から四時迄
仁政殿の牡丹は二十日も引き續いて招待を請けたる人々に限り觀覽を許さるゝ筈なるが觀覽者には西行閣にて茶菓の饗應あり時間は午後一時より同四時迄にして此間李王職洋樂隊は絕ず朗喨なる諧曲を奏し興を助くべし

◎十圓紙幣贋造 百十銀行で發見
下關市百十銀行より果に拂出したる十圓紙幣の內贋造紙幣あるを發見したる由なるが右贋造紙幣には

◎慘又慘

―銀行員と踏切番人の轢死

十九日午前一時頃南品川町三井銀行員新井啓三(四)は品川驛前より横山淺次郎の人力車に乘り同驛附近の踏切に差蒐れる際踏切の開閉機を開き居るより何心なく車夫が同所を横らんとせる刹那下關行貨物列車驀進し來りたれば

◆車夫は車を 捨てたる儘逃げ出し新井は無慙にも脚を切斷され其の場に昏倒し十時遂に死亡したるが一方同踏切番人竹內芳松(四)須田茂五郎(四)は事件が舉發の居合せる間に發生せる事なるに鑑み痛く慚愧の極責任上自殺して罪を償はんと相携へて大井町發電所前の鐵道線路に横はり午前二時横濱行列車の爲め粉碎され

◆敢なき最期 を遂げ兩名は官服帽子等を端然と線路の傍に置き公品一點をも損せず覺悟の往生とて檢視の者も暗涙に咽びたり鐵道從事員にして責任觀念の爲め自殺せるは往年九州大演習の際御召列車を脫線せしめし運轉手が自殺せる以來の事なり（東京特電）

日本銀行の印と番號なく普通紙幣より印刷濃厚なりと（下關）

◎七十四歲で徵兵檢查を受く

大阪府下八尾中河內郡役所にて徵兵檢查の際七十四歲の老人出頭せり同人は同郡西郡村竹綱音松と云ひ戶籍面二十一の適齡となり居り七名の子の親にて檢查官も處置に困り兎に角檢查せるが與で盲目で老耄し居れりと（大阪特電）

◎眠つた洋畫展覽會

◆金剛山六景が雅に賣れた◆

十八日から銀行集會所で開會中の高木背水畫伯の展覽會、二日目の十九日は恰もの日曜と來て朝から素晴らしい程の人出に賑はつた、夫婦おそひで態々仲の好いところを見せ付けに來たやうな人も尠なくない、見物は男六分に女四分さすがに洋畫でも見ようと云ふ人々丈に男女を通じてハイカラが多く飾ばんだ古屑や瓦片に隨喜の涙を流し相な人は餘りない、背水畫伯の作品丹餘點の中目星しいものは大抵買約濟みの札が附いて居るは大家連がまだ一介の書生つぽとして名を爲ぬ時代其努作に多大の努力を費して居る事である、參考品を見て感心したのは中澤弘光とか三宅克已などゝ云ふ當代の大家連がまだ一介の書生つぽとして名を爲ぬ時代其努作に多大の努力を費して居る事である、大家にでもならうと云ふ人はさすがに違つたものである、尙會場では本社の代理部で一手販賣中の原色版繪端書『金剛山六景』を賣出して居るが賣れる〳〵宛ら羽が生へて飛ぶやうに賣れる、序でに展覽會は二十日も引續いて開催の筈

◎歡びに輝いた一千の瞳

―龍山元町小學校講堂で開かれた本社第二回お伽講演會の賑ひ

本社第二回お伽講演會は十九日の午後一時から山元町小學校の講堂で開かれた降りみ降らずみの空模様も

▽晴れ輝いて 小さい生徒は皆御行儀よく晴れやかな顏に好奇の眼を輝かせながら早くお話が始まればいゝにと待ち構へてゐるから軈て時間になると鈴木校長先生から御挨拶があり松尾本社理事の挨拶が終ると愈龍山涙光先生は

▽可愛い拍手 に迎へられて發揮教訓お伽噺『浮かれヴァイオリン』からお話は始まつた此お話は太郎さんと云ふ子供が三年間のお給金三錢を哀れな老人に惠んでやつた爲めに浮かれヴァイオリンを買つて死刑に行はれる危い處を逃れたと云ふ話で涙光先生の身振り手眞似は少年少女諸君の腮が外れる位の可笑しさで大喝采の裡に終る、次ぎは前にも增した『このお禮』と云ふ動物愛護教訓お伽噺が始まる話の筋は或國の王子三四郎君が哀れな鳩を助けたお蔭で十萬の兵隊と百門の大砲と鉛筆を貰ひ芽出度父の仇なる

▽隣國の王を 攻め亡ぼしたと云ふ有益で面白い話で小さなイガ栗頭やお下げの頭が大波の樣に搖いで面白可笑しくお話しに醉つて了つた、最後の『召集令』は日獨戰爭に青島へ出征した父さんの戰勝を祈り病氣のお母さんを看護する殊勝なすみちやんの姉妹の

▽感心な心掛 けは多大の同情を惹て少女は袖やハンカチを濡らし男子は又握り拳で眼を拭つたりしてしんみりと『可憐さうだわ』『感心だね』と囁き合つてゐたがお父さんの凱旋を迎へる處になると愉快な軍國の氣分を味つた

▽話が終ると 再び鈴木校長先生から面白い話の裡に心の糧、心の教を得た事を感謝するとの挨拶があつて散會したのは午後二時過ぎであつたが當日は元町と龍山兩小學校尋常科三年以上の生徒一千有餘名に京城の各小學校の先生方初め善隣商業學校高等女學校女子技藝學校の生徒及び父兄の方多數の來會があり汽車で通つて來た者も尠なく

▽非常な盛會 であつた尙ほ元町小學校の先生方は特に會場の整理や諸種の斡旋に努められ當京日お伽講演會の効果を認めて盡力を惜まれなかつた事は感謝に餘りある次第である

◎新綠の開城

―藤の開城

[illegible]鮮式の古雅な背景に[illegible]開城も新鮮で有數で眺めの一になつてゐるが、勝の開城には亦た新鮮で有名なものが[illegible]殊に內地の藤とは其の背景を異にして優くまして

▼▲朝鮮式 の古雅なる趣きは之を內地に見る藤棚へ人工で咲かせられた藤の花とは全く相違してゐる、試みに開城の市街より北へ〳〵と山城に向つて行くと途中の山道の邊れは野生の房々とした

▼▲藤の花 が小松の根元に搦んだり[illegible]雜草の間に[illegible]其の間に可愛い[illegible]な野の花が咲き亂れて居るのは[illegible]な感じがする。夫れから[illegible]開城は[illegible]あるから諸所に[illegible]

▼▲紫白の [illegible]咲いてゐる[illegible]は高麗朝王城[illegible]の古木で其の樹齢は二百年以上に及び花も[illegible]主人は曰く、此の藤の肥料には[illegible]一斗五升計りかけました[illegible]

▼▲滿月臺 [illegible]

▼▲初夏の [illegible]

東京大相撲

七日目

勝	決まり手	負
伊錦	突放し	大泉
小田ノ山	寄倒し	黑翠
稍錦	押切り	玉柳
朝綠	浴せ倒し	射水川
金龍	小手投げ	野州山
錦洋	突き出し	朝見藤
殿リ	素首落し	友ノ浦
東雲	寄切り	若常陸
鬼鹿毛	寄切り	宇都ノ宮
翠ヶ浦	寄り倒し	大ノ高
御西山	浴せ倒し	土州山
大ノ里	叩き込み	矢筈山
敷島	吊り出し	綾川
大戶平	上手投	八甲山
大門岩	寄り切り	彌高山
常の花	掛け倒れ	大潮
源氏山	叩き込み	紅葉川
朝潮	寄り倒し	駒泉
栃木山	押し切り	黑瀨川
明石	浴せ倒し	逆鉾
石山	掬ひ投げ	釋迦ヶ嶽
清瀨川	下手投げ	岩木山
福柳	出し投げ	藤の川
錦島	櫓投げ	逆の矢
三杉磯	寄り倒し	一[illegible]

手投げを打つて大戶の勝▲大門岩に彌高山は大一素早く二本差土俵際にとなりて寄り進むを彌高土俵際にて右手にて大門の頭を卷捨らんとしたるが大門腰をひねり切つて寄▲常の花に大潮落しは當日の好取組なり立ち上るやバツタリ右四ツ潮引に拔き上て吊らんとするを常右足を外かけに掛け誘ふ氣味に寄り倒して勝は大喝采▲源氏山に紅葉川は例の通り突張り慎重に突い押して紅葉川は源氏叩き込んで紅葉の勝▲駒泉は再び叩込んで源氏の勝すを朝汐に突張つて叩かんとするを朝汐は駒突合つて渡り合ふ內朝右を差すや一氣に寄り倒して朝の勝▲栃木山に黑瀨川は左四つ栃木右上手を筈に當て押進めば黑土俵を回つて殘さんとするを栃木突き出して勝

中入後

▲逆鉾に明石は明二本差となるや逆門に締めしが解けて左四つ逆鉾身に寄らんとするを外掛に浴せ倒して明の勝▲釋迦ヶ嶽に石山は右を差し右を筈に當て、押し進みを釋迦が土俵を回つて殘さんとするを掬ひ投げ美事に極り石の勝▲若木山に清瀨川は右四ツにて寄合ひ下手投げに清瀨川の勝▲藤ノ川に福柳は右四ツの出ハナを引く投げ[illegible]に極まつて福の勝▲逆ノ矢に錦島は突き張つて[illegible]例の突張り來て錦の勝▲一港に三杉磯は右四ツ一本差しとなるや三杉掛け外掛に防ぎつゝ廻しを引き右四ツに寄り倒して勝▲對馬洋に千葉崎は[illegible]に吊り寄り[illegible]合ひ[illegible]を引き[illegible]勝▲宮城山に千葉崎は[illegible]飛び込んで[illegible]寄り合ひ吊り身に寄り倒したり千葉の勝にて六時廿五分打出し

宮が鬼鹿毛は大ノ高に右を[illegible]は右四ツにて勝▲大ノ里は突張りて土州飛び込んで御西の勝▲敷島に大戶平は二本差し[illegible]の烈しく土俵際に叩き込み再び[illegible]元氣角力なり[illegible]八甲山に大戶寄進み上

▲八日目取組

白岩（翠ヶ浦）鬼鹿毛（土州山）
若木山（大ノ里）逆鉾（若常陸）
明石（藤ノ川）石山（清瀨川）
逆ノ矢（釋迦嶽）綾川（大門岩）
三杉磯（黑瀨川）（大鳴門）
福柳（宮城山）（駒泉）

中入後

朝潮　栃木山
敷島（矢筈山）（大戶平）（紅葉川）
宇都宮（大ノ高）（御西山）（一港）
大潮（錦島）（彌高山）
源氏山（八甲山）（常ノ花）
千葉崎　對馬洋

珍柄陳列會
五月二十五日 二十六日 二日間
於京城日報社代理部（三階）
最新流行新柄澤山
即賣致候

衣裳美を發揮する
初夏の珍柄陳列會
今年初夏の御召物は大分色合も變つて參りました本社代理部は京城一流の各吳服店を網羅し斬新な粹な新らしい柄ばかりを陳列し當日限り京日愛讀者の爲め安價特賣を致します御散歩がてら入らして下さい

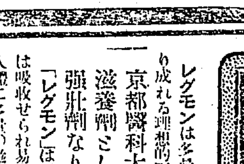
滿目たゞ新綠に醉ふ
生花＝盆栽＝展覽會
京日愛讀者の爲め本社を解放し新聞事業の賢況御視察を兼ね傍ら生花、盆栽を陳列し初夏の一日をゆつくり茶菓を召上りながら遊んで戴くつもりです御家族御同伴是非お出かけ下さい

主催 京城日報社

法人登記
伊川地方金融組合長李順興ハ任期滿了ノ爲メ大正七年四月二十一日總會ニテ再選重任セリ右大正七年五月十五日登記
京城地方法院伊川出張所

競賣入札 購買
一、單行[illegible]乙外貳輛
一、自轉車參拾
詳細五月二十日ノ本府官報ニ在リ
遞信局

中古靴
一號 中古編上靴及短靴 金壹圓五拾錢
二號 金貳圓
三號 金貳圓五拾錢
四號 中古深ゴム及長靴 金參圓也
一號 中古 金貳圓七拾錢
二號 金貳圓八拾錢
三號 金四圓五拾錢
四號 品質佳良なる中古靴
澤山取揃へ有之候御下命の節は足袋文數御報次第御送付可仕候
定價表御一報次第進呈
東京本郷春木町八番地
小倉持古靴店
振替東京二〇五三九



株式名義書換停止公告
當會社定款第二十六條ニ依リ來ル六月一日ヨリ第一回定時株主總會終了ノ日迄株式名義ノ書換ヲ停止致候
大正七年五月二十日
朝鮮製糖株式會社

京日案內
普通五十錢一回前金 一番外壹[illegible]
[illegible]
◎貸宅 也老人亭下[illegible]二坪三二[illegible]八坪地均濟[illegible]光[illegible]向に最適[illegible]和町老人[illegible]7[illegible]
◎月收の方に信用融通す[illegible]金多少に不拘御相談に應ず[illegible]上[illegible]九[illegible]地
◎店員入用 十六七歲以上[illegible]京城本町二丁目[illegible]
◎店員入用 年齡廿[illegible]入たし希望者至急乙來談 角地新菓子商[illegible] 91
◎事務員採用 年齡廿六七歲より卅歲迄希望者履歷書携帶乞來談 南山町一丁目京城ホテル 103
◎店員一名外交員一名 年齡廿歲以上要保證人 朝鮮藥[illegible]副業に適す 本[illegible]101
◎武[illegible]商業學[illegible]卒業者入用 年齡廿才前後 日鮮人貳名[illegible]電話二八一〇番 南大門通り[illegible]丁目 齊藤商店 93
△金融 月收の方に極秘貸 御報次第參上候 京城本町五丁目電車終點 大和屋質店 9

◎女中入用 品行善き二十歲前後の人 南山町 松園 92

年金恩給 最長期 最低利 即時立替 四年半迄保險ニ要 京城永樂町 江州屋本店 45

店員 十四五歲以上二十歲位迄 四五名入用但し要保證人 希望者ハ履歷書携帶至急來談あれ 商品陳列館前 大春日町角 土永吳服店 81

中古玉突臺賣却 アメリカテーブル式臺完全なり 詳細は左記へ御照會を乞ふ 北米山金鑛會社內 飯島 68

恩給年金 低利即時立替 公債債券ル物買 公債しく貸付 京城若草町一百六番 電話三〇一一番 西村商會 69

これから先きの必要品！
今！寶丹を服む人は夏になつたら猶元氣
キ、メ本位の懷中良藥
寶丹
―內にも外にも―
急病に{何時何處で急病が起らうとも又醫者の來る迄の救急用として寶丹さへあれば何より安心}
養生に{朝夕缺かさず寶丹を服用すれば病魔を驅逐し健康を增し常に愉快に二倍の活動が出來る}

主効
●氣付 ●暑氣中り ●下痢腹痛 ●船車の醉 ●消化不良
●頭痛眩暈 ●過飲過食 ●霍亂吐瀉 ●寢冷 ●疫病豫防
（各藥店ニアリ）

定價 金十錢、金廿錢、金卅錢、金五十錢、金壹圓、金貳圓 ●卅錢以上ニ寶丹匙添附
本舖 東京市下谷區池之端仲町廿七 守田治兵衛
（振替東京二九八五番）

滋養強壯劑
レグモン
レグモンは多量の可溶性蛋白質と適量のカルチウム鹽類より成れる理想的蛋白製劑にして
京都醫科大學教授 森島醫學博士より有効滋養劑として推奬せられたる名譽ある滋養強壯劑なり
「レグモン」は單純なる強壯劑と異り、其八十五プロセントは吸收せられ易き蛋白質なるが故に營養不給の結果衰弱せる人體に多量の滋養分を供給して血球素と體量を增加し、筋肉を強め、心臟を強くし、又神經を強壯鎭靜せしめて、神經過敏を恢復し、漸次に體質を改良強健ならしむるものなり、又レグモン中に含有カルチウム鹽は最も吸收せられ易きが故に現今專ら醫界に賞讃せらるゝカルチウムの靈妙なる強壯的作用を人體に與ふべき理想的滋養強壯劑なり。
醫學士山下甘三郎氏（日本赤十字社病院）曰く
レグモンを多數の衰弱せる患者に試むるに速かに營養を恢復し治療期間を速かならしめ得たり、殊に其の服用し易きと運用して胃腸を害せざる等の點に於て、從來外國より輸入せられたる滋養劑に劣らざるものとす。云々（東京醫事新誌所載の學術的報告の摘錄）
定價 百瓦入 金壹圓貳拾錢 二百瓦入 金貳圓貳拾錢 四百五十瓦入 金四圓五拾錢
詳細なる說明書あり 無代郵呈す 全國有名藥店にて販賣す
發賣元 藥品製造 藥种貿易 大阪市東區道修町 武田長兵衛商店

花吹雪（三十六）

大阪 中谷青霞

『身を初め主税之助へ、年月忠義の志、清兵衛過分に思ふぞ。』と御母は眼を閉ぢて暗愁に咽ぶ。

『はゝ。』

とばかり清兵衛も聲を呑んで、返す言葉はない。

『かほど思ふ汝をむざ〳〵と暇遣す御母が心中、清兵衛察して呉りやれ。』

『は、冥加に餘るお言葉、清兵衛只感涙の外でざりませぬ。不肖の某を身に過ぎたる御引立、御恩報じには如何にもして一廉の忠義を立て、御褒美のお言葉にも預らんと、日夜心懸けました甲斐もなく、僅かの云懸りに役もない腕立して御鴻恩海山にも替へ難い親殿様に御心痛おさせ申すのみか、御難儀を見せまする不忠不義、建部様お邸へお越しとも承り、さては必定御仕儀ともあらば潔く割腹とも存じましたれども、拙者死後は誰あつて萬分一の御恩報じ御奉公申さうものもなき獨り身の某、爰は暫し惜しからぬ命永らへ主税之助様御始終見屆け、陰乍らも御力添へ申上げ、身の科の萬分一も償はんとおめ〳〵永らへお目通り致した清兵衛、お手討切腹ともあらば其場を去らず潔く身の申譯相立てんと心得居りましたるに、身に餘る只今のお言葉、慈悲のお暇下さりやうとの仰せ、世々代々の御恩でざります、清兵衛有難くお受け申しまする。』

『何時に變らぬ汝が忠節過分に思ふぞ、それに就けても汝が行末、身が邸にあつては立身出世も思ふに任せず、向後は何方にもあれ外様の然るべき大名にも仕へ思ふまゝの榮達なしやれ、汝の器量骨柄ならば隨分取立て召抱へやう、賴母陰乍ら汝の出世を祈るぞよ。』

『有難きお言葉、なれど忠臣は二君に見ねずとも申せば、身不肖にはムりますれど某行末、陰乍ら御家に盡すの外、榮達の望みなど毛頭ムりませぬ。出世を祈るとはお情け過ぎてお怨みとも存じまする。』

賴母は思はずハラ〳〵と[illegible]の涙して。

『おう、可うぞ申した清兵衛、嬉しう思ふぞ、其志忠義の程を忘れず、行末永く主税之助に陰乍ら力を添へて呉りやれ。』

涙は滂沱として袴を浸す。

『殿様御壯健におはせど、隨分御厭ひ遊ばされまするやう……』

『おゝ、汝も無事で暮らせ。』

と賴母は面を反向ける、清兵衛は頭を擡げ。

『いつまでお目通り致すも絶れて名殘りは盡きませぬ、さらばお暇給はりまする。』

『待て清兵衛、汝に遣すものがある。』

云乍ら賴母は一口の差添取出し、立上るを。

『この小刀は備前行安、父脩理之介が前將軍家より給はりし一口、身が記念に遣すぞ。』

『は、重ね〳〵の御厚恩申さうやうもムりませぬ、前殿様御秘藏とおはせばお家重代の魂、只有難くお受け申しまする。』

『主税之助が今一度汝に染々會ひたいと申して居つたぞ、未だ寢に就くまい、清兵衛、其儀參れ。』

『は。』

『名殘りは盡きぬ退がりやれ。』

『はッ、隨分御健壯を祈り奉ります。』

『おゝ汝も無事に暮せ、又逢はうぞ。』

清兵衛は悄然として立上つた。夜はいたくも更けてゐるのであつた。

日報俳壇

春季雜詠 笛木選

水車音なく廻る庭木芽風 笛木
春曉や閻近く汲む水の音 同
雛洗ひ海き埃や桃の花 同
小さき驛に溢れて待つ花見人 同
嫁す日迫る淡き離愁や春の宵 同
軒深き燕に外の風雨哉 同
耕人に土手往く馬車の喇叭哉 同
カナリヤの軒高啼く日永哉 同
春宵や婆と兒の爐所々し 同
燕の巢籠る土間の廣さ哉 同
屋根瓶りて聳ゆ大樹や猫の戀 六鶴
街燈の灯に曳く虹や春の朝 同
海に貫く林の徑や春の風 同
火田拓く鍬の響きや春の山 同
府塔を修す足場や人霞む 同
雀飛んで巢藁の落ちし揷木哉 同
葬人の眼に沁むや花菜風 同
大弓場の廊の夕日哉 綠色
病院の廊下に溜る落花哉 同
移住今年三年の櫻咲きにけり 同
閑人の鼓舞す日次や廟の花 同
海の風堀を掘つて緋桃哉 同
泣きゐる兒を負ひ出でゝ春の月 みつる
軒滴も止みて春の夜更けにけり 同
夜裁つも下る大河や風光る 同
我を知る御僧花しぬ春の寺 同
笛きし帽執れば梅白かりし小門哉 城
夜訪へば舐める貝美しや春の風 同
浪が寢ねし兒の鼾や春の夜 かつ
日曜や讃美歌るもの野や春の雨 同
智惠の輪を解き安堵や春の宵 風金
草餅や父歸り來し香の音 同
蓬餅一つ殘して話し居る 染六
花に寢て偲ぶ試驗の名殘哉 同
美女多き園へ旅立つ春の風 じ腹

「桂川雲水兩子送別夕莚」(於南山)山城吟社

初夏の夜の更け易く杯盤取りのけて隣は寄せにごよめく屁ツ放り腰で臆面もなく悪筆を揮ふ者膝つ小僧でない膝で大僧出して擴げ揮ふ者等奇態奇皆より北方が餘程見物だ桂川、雲水兩君とかうした販を共に味ふも今夜のみとなつた庭の若葉も大分深くなつた(末刀)

君送る花菜黄色し麥明し
路の闇君の灯しに照らされん
葉櫻し逢はるゝ人の影遠し
旅登で大空仰ぐ男かな
手巾振れば端振る初夏の別れ哉
牡丹宿みて北陸の都花賑しけり
君送る古城の影や夏の雨
君跡ふ鴨緑江畔に田植哉
君往く地に百花香るべし野肥ゆべし
梧桐や君が殘せし記念林
燕來る頃に易水唱へけり
追分を流して行くや青風
水鶏聞く枝風情や佳句あらん
五斯處る楽觀鈍き浮苗哉

雲水 坐堂 孤秋 鶏城 方女 孤外 不山 子碎 一待 士佛 かつら 寄石 末刀

自轉車のさつはと殺かくれけり 死香

留別 送雲水君

北へ北へ雲見早し閑古鳥 桂川
汗ばみし馬の片荷や若楓 孤雲
葉柳や稲荷の牛の逆ゆりけり 孤秋
帛を裂く友の別れやほとゝきす 方外
老木とも見けず實行く若葉哉 桂川
角隱めて底光あり蝸牛 かつら
君を送る堤の柳青田の哉 鶏石
衣更へて君が馬上の姿哉 寄佛
江を越ゆし葉柳の高き眺めけり 一碎
君に贈る薔薇に百合の一枝哉 不女
よそながら君送るなむ若葉陰 さた
君行けば路傍に柔や風薫る 子待
君往く地の陽の發の若葉哉 未刀
鵑に疲れて頰の鬚寄す給哉 死香

留別

春き線むる皮袍の緑や新櫻 雲水
やせ馬も此の草鞋に生きんとす 雲水

「鶏林同人會詠草」 山村

山里は谷をへだてゝには鳥の聲なく聲ものどけかりけり 吉武直也
都にて時めく人のふるさとゝおきて指さすやまなかのいほ 松田甲
静けさの心にかなふ山ずみにすめばみやここそこひしかりける 佐々木信一
畑だにおほくはみえぬ山なかに紙すく家のむらなしたる 白石清鐵
庭鳥の聲より外に聲もなしみやまのさとはいさしづかにて 田淵積
ふくろふの聲なりけり〳〵郷ゆなりこよひやされる山かげのむら 坪田孝
田に遠き片やまさとは何ごともむかしのままにおだやかにして 平山ひさす

新刊紹介（到着順）

▲入格と幸福（六〇五）京都祇園高小[illegible]
▲婦人週報（四の一九）五錢、東京市市谷田町二の一右社
▲極東時報（六〇）十八錢 東京京橋區築地明石町三三社
▲小學生（八ノ五）十三錢、東京澁谷東京文教社
▲フースヒー（五六）五錢、東京澁谷町下澁谷一二二五社

讀者の領分

▲エー生の慨歎される様な事[illegible]（以下判読困難）

[illegible]（判読困難）四年前募集せられ中止せり候つまり四年前募集せられ中途にて中止せし俳句も再募集すればよからべし（俳句派一同）▲何れの時代何れの處にも野の分はありますト役の某は幾ら正式に働いても結着の贈物の多少によりて大切なる部下の身上を上下する者あり[illegible]

和氣正堂 京城本町二丁目 電話一二九五番 振替京城一八三番 ▲御一報次第見本送呈

●咸興四月財況

四月中の咸興金融狀況は流石に殷賑を極めたりし絹布類仲間内取引も細絹の大崩落に目先不安の念に驅られ概ね沈靜し[illegible]の目覺しきものなく市況は常例の閑散期に差入り從つて金融界は茲に大口資金の需要一段落と共に大體に於て端境期の成行を持したり而して銀行[illegible]殺市場は調節合影響にて幾分氣重の狀を呈したりしも地場は尙强硬にして端境期の奔騰を豫想し見送りの有樣なり從つて移出界は頓に寂寥の觀を呈し一方又移入品界にても時節柄[illegible]に比し二十四口の七千六百八十五圓を減じ預金は千二百十一口の五十三萬三千七百二十一圓にて前月に比し六萬九千七百二十六圓を增加し居れり

●京畿沿岸漁況

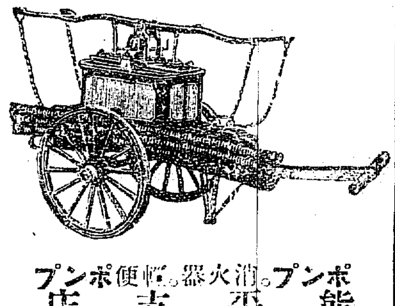
[illegible]方面へ出漁の四十六隻はグチ雜魚[illegible]鹿島孤島外畑島近海に出漁の三十二隻は鯛千九百二十圓の漁獲あり[illegible]二萬千圓の漁獲ありたりエビ延繩は外相島西方沖合四十里の沖合に[illegible]七十三隻[illegible]は前年に於ける大漁な[illegible]最高四錢五厘最低二錢平均三錢七厘エイ一尾平均三十錢[illegible]

内科 胃腸病 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話一二三九番

GOSPEL 男女 強壯劑 ゴスペール

陰萎にゴスペール本劑は肉體の營養強健を主眼とし植物性補腎新劑にて其主効は生殖器神經に作用し在記生殖器障害に實試上有力なる陰萎增勢藥にて今直に用ひ一回用量僅に一錠
神經衰弱性陰萎 衰弱性射精・早漏・夢精・遺精
（藥價）九錠入金一圓◎廿一錠入二圓◎六十三錠入五圓五十錢◎百廿六錠入十圓
發賣 東京市下谷區上野町 竹島製劑所 特約 吉田萬珠堂

胃腸病にタラコン
普通胃腸の藥は只だ一時の消化を助くるか無理に胃液の分泌を促すか又は胃液を中和するだけですが此タラコンは弛緩だ胃腸の筋を引締めて其活動を順調にし胃液を盛へ消化を十分にして吸收を好くし本統に健全な身體となります胃膨加答兒、胃アトニー、胃擴張、胃痙攣、常習便祕、常習下痢、胃潰瘍等苟くも胃腸病に苦む方は是非御試し被下タラの一種猛烈なる劑は如何に頑固な長年の胃腸病でも驚く功効があります
◎散藥五十錢一圓一圓七十錢◎錠劑一圓一圓九十錢◎送料八錢海外卅錢
本舖 東京小石川下富坂町廿 無量壽藥園（電話小石川二九五六 振替東京二〇〇二）

消防ポンプの精鋭は蒐めて京城の熊平にあり

熊平の消火器・輕便ポンプ 熊平支店 電話長六二四番 振替京城三三一一二番

資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千貳百貳拾萬圓
總預金 貳億貳千六百萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
頭取 佐々木勇之助 支配人 西村道彦
京城本町二丁目 振替貯金京城一六一番 電話一三一七番

比較は最良の選擇法なり!! サクラ正宗

京城明治町二丁目 山邑京城支店 電話八四一番 九四四番 振替京城五七番

外科 花柳病 内科 婦人病 入院隨意 京城本町五丁目稻荷座前
醫學士 齋勇 醫士 齋豐次
電話二〇一二番 大和病院

孃様が赤々と 日にお燒けになつてはなりません 美顔ユーマーだけは是非缺さず!!

三十前後から 段々小皺が寄るものですがユーマー御使用の方は其點御安心!!

化粧の秘訣は ユーマーにありユーマーを化粧下にしたお化粧ぶりは又格別!!

楚々たる風姿 人目を引けど卑しからず、品よく美しきは美顔ユーマー愛用の人!!

既に髭を剃る これ一種の化粧。剃つた後へユーマーを使用する、これ皮膚衛生!!

美しくなる液 美顔ユーマーの賣れ行今や いよ〳〵盛なり!!

最新刊
書名 著者 定價
三宅雪嶺著 小紙庫 定價一、五〇
外政新論 淳平 一、九〇
手形法 松本烝治 三、六〇
天台四教儀講話 境野黄洋 一、五〇
盆栽の作り方 小田村滑覺水 二、〇〇
大日本主義 上泉德彌 一、二〇
勞働經濟講話 桑田熊藏 一、八〇
民主々義と自由主義 長瀨鳳輔 一、六五
農業倉庫經營論 福田北斗 二、〇〇
野村愛正著 明ゆく路 定價一、一〇
トルストイの生涯と藝術 原白光 大五
ユニオン第四讀本 長澤英一郎 一、五
拔 逆 者 石島武郎 五五
料理小說集 吉田蒼代 九〇
自然 草 幸田露伴 一、〇〇
四十六夜日記 六五
明治行政法總論 美濃部達吉 七〇
五段 鈴木爲次郎著 新式 圍碁寶典 定價各六五
攻石詰碁必勝法 六段 瀨越憲作 一、〇〇
京城本町 大阪屋號 電話六八四番 二〇八六番 振替京城二五七三番（本店）東京（同店）大連・旅順・鐵嶺・釜山

りん病 ばい毒 百圓進呈 大阪有田ドラッグ商會
請合 梅毒注射・淋病藥 ... 帝國醫科大學病院等にて當藥配劑せる高貴藥あるを保証す若し前述の証言に違へる事を發見せる時は分析料百圓進呈
●あらゆる治療をあかすも効なき患者先に一度來談あれ
にせ物 東京大阪各地ににせドラッグあり 大阪有田 顧を賢取あれ
京城南大門外停車場通 大阪有田ドラッグ商會滿鮮本部（振替京城一七七番 電話一五六〇番）
京城黄金町三丁目（全支店）龍山練兵場前停留所（全支店）釜山大廳町二丁目（全支店）元山本町三丁目（全支店）平壤橡町十三番地（全支店）仁川宮町二丁目（全支店）
●朝鮮のにせ物 京城、龍山仁川等各地ににせドラッグあり瞞着せられざる樣御注意をこふ
諸官衙病院各藥店飯賣不許 全國到る所の都市朝鮮滿洲南清各港等に支店あり
東京日本橋通四 大阪心齋橋筋本町 有田ドラッグ商會 松富

大阪商船株式會社汽船出帆廣告
仁川出帆 ◉神戸、大阪行 日清丸 六月八日 後五時
元山出帆 ◉宮島丸 五月廿四日 後十二時
大連出帆 ◎釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 安平丸 五月廿三日 後九時
◉上海、基隆、打狗行 湖北丸 六月十九日 前六時 基隆丸 五月 後四時
內地各港出帆主要航路
滿洲行 毎月一回 北米行 毎月二回 南洋行 毎月一回 孟買行 ...
御注意 ▲御乘船切符御求め ... 大阪商船株式會社仁川支店 電話二五五番 京城切符發賣所 ...

釜山出帆廣告
汽船 門司、神戸、大阪行 和歌浦丸 月 日 後五時
立神丸 月 日 後五時
元山、清津、浦鹽行 和歌浦丸 月 日 後四時
立神丸 月 日 後十時
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天草丸 毎月二日九日十六日廿三日 午後七時
元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三丸 日 後六時
門司、宇品、神戸、大阪行 第三平丸 四月 日 後六時
本船取扱店 大池回漕店

左官建築材料
セメント 石灰 硅藻土、火山灰 左官材料一式 各種色土 砂 布海苔、苆 各種塗料 品 建築材料 東京 饅 煉瓦用、東京 饅 左官用、東京 品 各種耐火煉瓦 種々 煉瓦土管 瓦 コールタール、コークス 各種苆類製造
瓦斯コークス一手販賣 コールタール特約販賣 京城電氣株式會社製
九州火山灰 合資會社 特約販賣店 京城旭町一丁目 御商 戸澤商店 電話九八四番

模範牛乳 ニツソ 石鹼洗物 東京蓬萊町四丁目 東亞牧場

總監部御認可 衛生無害 はい取散

室内の空氣中に撒布せば蠅は十分間にして死す 戸外に出死するは請合なり 全鮮一手 引請捌元 京城南米倉町交番前 島田藥房
▲各地藥店雜貨店に販賣す ▲特約店及行商希望の方照會乞